

昭和58年版

数字で見る図書館活動

調布市立図書館

図書館分館の時代を

知識の創造的媒体を目ざして

図書館長 森 正 克

「おしん、角栄、隆の里」……。今年は「おしん」ブームである。「おしんこけし」や「おしんまんじゅう」まで出現した。'83年4月から始まった朝の連続テレビ小説「おしん」は、東北の最上川の寒村に生れ、逆境に耐えながら真摯に立向い、明治、大正、昭和をガマン我慢で生きぬいた一代のサクセス・ストーリー（成功物語）である。とりわけ、明治の貧しさ、そして昭和期の敗戦の悲惨さを経験した年代には、少女のけなげさがまるで自分のたどってきた原風景を見るような気がして、涙ぐむのであろう。

人は城、人は石垣、人は⁸⁹豪

'45年の敗戦によって全ての価値を灰と化したどん底の日本が、わずか数年のうちに世界における産業最強チームになろうとは、当時誰も予想しなかったであろう。経済の奇跡といわれる所以である。世界から見ると「おしん」ではないが、日本そのものがサクセス・ストーリーなのである。貧しい日本国民は、敗戦の貧しさ、悲惨さに耐えながら、アメリカの民主制、合理主義あるいは技術を懸命に学び、そして咀嚼した。今や、アメリカのみならず、世界の人々は日本の成功の秘密を探るための研究が盛んに行われるようになった。そのひとつアメリカの日本通の一人であるフランク・ギブニー氏の近著「ニュー・キャピタリズムの時代」によると、……欧米のエコノミストは、人間を特定の機能・交換可能な部品と考え、効率を常に優先させた。しかし日本人はアメリカを学びながらも、まったく違ったニュー・キャピタリズムを生み出した。日本の奇跡は、伝統に根ざした儒教的経済主義、人間中心の思想をとり入れ、国を挙げてのセンス・オブ・コミュニティ（共同体意識）によって達成されたものである。として武田信玄の「人は城、人は石垣、人は豪」の言葉を挙げて説明している。つまり信玄の領国の甲斐に他の封建領主のように砦を築かないかと聞かれたのに対し、信玄は自分にはその必要はない、とこの言葉で答えている。信玄が家臣の意見に耳をかたむけ、人のコンセンサス（合意づくり）にいかに関心したかのたとえである。これが人間中心主義の代表的なものであり、日本人の血となり肉となったものである。……というのである。その他にも日本に対する警告もあり、大変読みごたえのある名著で、秋の夜長を楽しむことができた。

日本における公共図書館の思想も、終戦後アメリカによってもたらされた。

アメリカ合衆国の独立・建国に貢献した立志伝中の人物フランクリン（1706～90）は公共図書館の創設者であり、第3代大統領のジェファソン（1743～1826）は連邦議会図書館の創

設者として有名である。つまりアメリカの「独立」・「自立」の風土の中で生れた公共図書館の思想は今日も脈脈として息づいているのである。

日本における分館網システム、ブック・モバイル、ブラウジング、レファレンスなど図書館行政が活発な動きを見るにいたった根底には、終戦時のCIEの図書館指導を見逃がすわけにはいかない。……やがて図書館行政においてもアメリカから否世界から注目される「日本の新しい図書館活動」が展開される。……と想像するのはいささか僥上だろうか。

分館は地域の顔

過日、白百合女子大学の牛島悦子先生(図書館学)が文学部の生徒40人(司書課程選考)をつれて佐須分館を訪れた。先生は学外授業の一環として調布の図書館を選ばれたのである。女子大生であるので、当方も趣向を変え、分館の女子職員に「調布の図書館活動」と題して講義してもらった。この試みは「女性がこんなに活躍しているのは素敵！」と女子大生の間で大変好評であった。牛島先生は図書館学の研究のため、長くアメリカに留学された方である。その先生に「3人でこれだけの分館を運営しているのに感心する。職員は大変魅力的である。児童への行届いたサービス、地域住民の共同学習活動の援助、学校との協力事業、多彩な文化活動など目覚ましいものがある。調布にはアメリカにもないものが生れつつある。」とお誉の言葉をたくさん頂戴した。

本市では、ブック・モバイル(自動車文庫)を走らせなかった。たしかにブック・モバイルは機動力と宣伝力においてきわめて有効であるが、あくまで補完的要素が強い。図書館政策の基本は市民の身近かに図書館を充実することである。

本市は速まわりではあったが、分館網完成というこの「大道」を歩むことができた。これからは分館を市民とともに「地域の顔」として育てて行かなければならない。

地域住民が自分の書齋として出入する図書館分館は、静まり返った一部学者の研究室ではない。そこは児童室と成人室を断絶する仕切のないワン・フロアであり、壁にはお母さんの手づくりの作品や子ども達の絵が飾られ、カウンターでは本を借りたり、返したりの職員との会話、書架の前では子どもどうしの会話がかわされる。集会室では、お父さん、お母さんと職員の間で共同学習が活発に行われている。そこには独特のざわめきの中にも、なま暖かい雰囲気がかもし出される。

これからの図書館は、単なる知識の受渡しをする館ではなく、地域住民の知識の創造的媒体を旨とするものでなければならないと思う。

目次

I 調布市の概況	1
1. 人口	1
2. 財政	8
II 図書館の概況	14
1. 運営方針	14
2. 昭和57年度図書館重点事業	14
3. 図書館配置図	15
4. 各館別施設概況	15
5. 運営組織と事務分掌	25
6. 貸出制度と開館時間	33
7. 将来計画	36
III 蔵書	37
1. 年度別蔵書冊数	37
2. 館別・分類別蔵書冊数	37
3. 分類別購入冊数	37
4. 分類別寄贈冊数	38
5. 分類別除籍冊数	38
6. 館別蔵書計画	39

IV 登録状況	47
1. 年度別登録者数	47
2. 町別登録者数	47
3. 館別登録者数	48
4. 職業別登録者数	48
5. 市内小中学生の登録状況(昭和56年度調査結果)	48
V 貸出状況	72
1. 年度別貸出冊数	72
2. 館別・分類別貸出冊数	72
3. 月別貸出冊数	73
4. 団体貸出冊数	73
VI 障害者サービス	79
VII 各館事業	82
VIII その他の活動状況	88
1. 集会・学習活動の状況	88
2. 行事	88
3. 育成グループ	94
4. 視聴覚ライブラリー	96
事務分掌表	97

I 調布市の概況

昭和30年4月調布町・神代町が合併し、人口4万5千余人の調布市が誕生した。

調布市の歴史は、自然が与えた野川沿いに始まり、そこには、先人が残した遺物が数多く発見され、縄文時代中期の土器も出土しており、奈良時代の万葉集には、『多摩川にさらす手づくりさらさらになにそこの児のここだ愛しき』とうたわれ、今も残る、布田、染地、といった地名が当時の人々の生活を象徴的にうつつだしている。更に江戸時代には、甲州街道(国道20号)沿いに宿場が設けられ、「布田五宿の貸坐敷」として当時はかなり有名であった。

現在の調布市は、副都心新宿から西へ15km、私鉄(京王線)で15分の位置にあり、東西に京王線と甲州街道(国道20号)が、中央自動車道がほぼ北東から西南にかけて横断しており、典型的な近郊住宅都市である。地形は、南端の多摩川附近の低地から北に向うに従って高台となる段丘で、武蔵野台地と立川台地の上に広がり、深大寺附近は、武蔵野の面影を残す絶好の住宅地である。

面積 21.79km²
(東西約7km 南北5.7km)
位置 東経139度32分 北緯35度38分

1. 人口

(1) 町別人口

人口の分布状況を町別にみると、甲州街道(国道20号)と、それに平行して走る私鉄(京王線)に添って市街地を形成している地域(小島町、布田、国領町、仙川町等)、新らしく集団住宅の建設によって形成された住宅地域(染地、西つつじヶ丘、緑ヶ丘等)に大別することができるが、近年は、首都圏内都市に共通する宅地化の波にさらされ、道路の整備とバス路線の充実によって、人口分布も全市的に拡大されつつある。

町名	昭和30年4月	昭和31年4月	昭和32年4月	昭和33年4月	昭和34年4月	昭和35年4月	昭和36年4月	昭和37年4月	昭和38年4月	昭和39年4月	昭和40年4月
小島町	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100
布田	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200
国領町	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300
仙川町	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
染地	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500
西つつじヶ丘	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500	2,600
緑ヶ丘	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500	2,600	2,700
計	7,800	8,500	9,200	9,900	10,600	11,300	12,000	12,700	13,400	14,100	14,800

町丁別世帯と人口

表〔I-1-(H)〕

町丁名	世帯数	人口総数	男	女	面積 (km^2)	人口密度 ($1km^2$:人)
総数	69,955	180,731	92,971	87,760	21.79	8,294
飛田給 1丁目	891	2,234	1,162	1,072	0.246	9,081
2丁目	781	1,862	964	898	0.259	7,189
3丁目	451	1,221	641	580	0.246	4,963
西野町 1	1	1	1	-	1.123	1
野水 1丁目	15	48	23	25	0.354	136
2丁目	-	-	-	-	0.092	-
上石原 1丁目	1,192	2,967	1,547	1,420	0.263	11,281
2丁目	864	2,064	1,064	1,000	0.217	9,512
3丁目	1,031	2,379	1,385	994	0.295	8,064
下石原 1丁目	914	2,414	1,231	1,183	0.219	11,023
2丁目	849	1,985	1,085	900	0.175	11,343
3丁目	1,182	2,692	1,435	1,257	0.263	10,236
富士見町 1丁目	531	1,447	726	721	0.180	8,039
2丁目	1,076	2,871	1,479	1,392	0.216	13,292
3丁目	919	2,397	1,223	1,174	0.216	11,097
4丁目	995	2,661	1,400	1,261	0.289	9,208
調布ヶ丘 1丁目	471	1,152	554	598	0.214	5,383
2丁目	534	1,276	684	592	0.115	11,096
3丁目	1,121	2,361	1,214	1,147	0.237	9,962
4丁目	447	1,152	608	544	0.106	10,868
小島町 1丁目	780	2,064	1,004	1,060	0.167	12,359
2丁目	1,109	2,733	1,334	1,399	0.207	13,203
3丁目	1,459	3,625	1,855	1,770	0.293	12,372
下布田町 70	230	119	111	0.026	8,846	
布田 1丁目	564	1,451	729	722	0.091	15,945
2丁目	1,050	2,558	1,304	1,254	0.138	18,536
3丁目	450	1,074	557	517	0.159	6,755
4丁目	402	855	426	429	0.113	7,566
5丁目	689	1,692	832	860	0.145	11,669
6丁目	370	896	472	424	0.173	5,179
染地 1丁目	438	1,338	704	634	0.193	6,933
2丁目	1,483	4,345	2,231	2,114	0.344	12,631
3丁目	3,080	9,392	4,681	4,711	0.466	20,155
多摩川 1丁目	479	1,515	774	741	0.232	6,530
2丁目	219	564	303	261	0.206	2,738
3丁目	1,167	2,773	1,530	1,243	0.230	12,057
4丁目	300	741	378	363	0.196	3,781

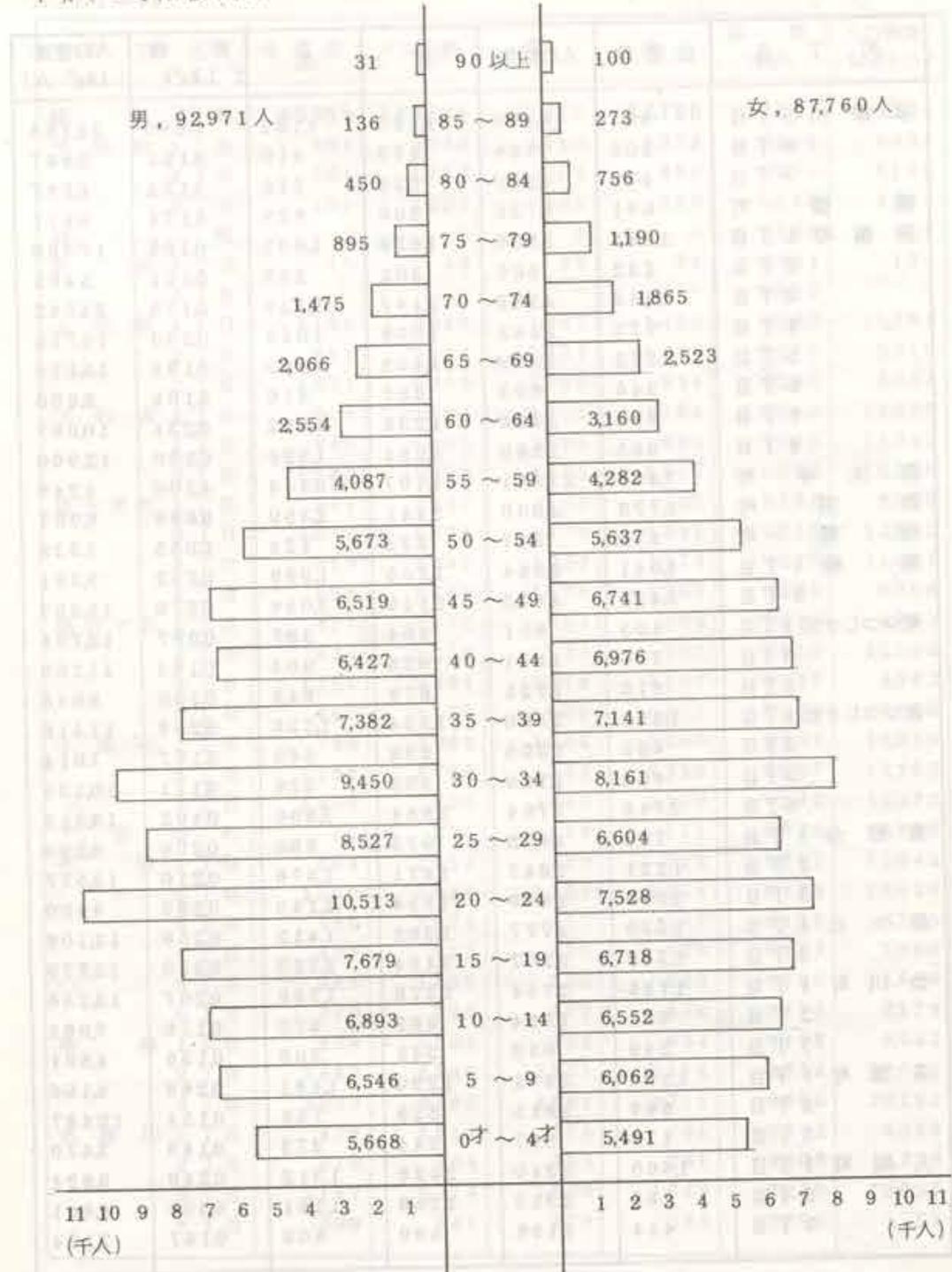
資料：市民課「住民基本台帳」・都市計画課「町別面積表」

(注)：面積総数には、河川敷等の面積1.120及び金子町0.009を含む。

58年1月1日

町丁名	世帯数	人口総数	男	女	面積 (km^2)	人口密度 ($1km^2$:人)
多摩川 5丁目	931	2,370	1,185	1,185	0.098	24,184
6丁目	305	889	479	410	0.151	5,887
7丁目	479	1,207	629	578	0.175	6,897
国領町 691	1,735	906	829	0.174	9,971	
国領町 1丁目	1,281	3,230	1,628	1,602	0.186	17,366
2丁目	232	600	302	298	0.111	5,405
3丁目	1,553	4,283	2,147	2,136	0.178	24,062
4丁目	775	2,142	1,098	1,044	0.200	10,710
5丁目	1,272	2,959	1,499	1,460	0.195	15,174
6丁目	346	903	487	416	0.105	8,600
7丁目	984	2,330	1,238	1,092	0.231	10,087
8丁目	865	2,580	1,254	1,326	0.200	12,900
深大寺町 7,407	21,551	11,107	10,444	4.106	5,249	
佐須町 1,770	4,800	2,441	2,359	0.686	6,997	
柴崎町 179	347	223	124	0.065	5,338	
柴崎 1丁目	1,041	2,364	1,265	1,099	0.252	9,381
2丁目	1,428	4,175	2,119	2,056	0.270	15,463
東つつじヶ丘 1丁目	403	851	464	387	0.067	12,701
2丁目	796	1,831	928	903	0.164	11,165
3丁目	670	1,721	879	842	0.190	9,058
西つつじヶ丘 1丁目	1,253	3,060	1,534	1,526	0.268	11,418
2丁目	483	1,305	636	669	0.167	7,814
3丁目	498	1,125	599	526	0.111	10,135
4丁目	2,748	7,764	3,864	3,900	0.402	19,313
菊野台 1丁目	794	1,858	973	885	0.200	9,290
2丁目	1,221	2,847	1,471	1,376	0.210	13,557
3丁目	1,510	2,679	1,534	1,145	0.285	9,400
緑ヶ丘 1丁目	1,039	2,777	1,365	1,412	0.250	11,108
2丁目	1,796	5,207	2,484	2,723	0.330	15,779
仙川町 1丁目	1,166	2,744	1,378	1,366	0.207	13,256
2丁目	601	1,354	682	672	0.170	7,965
3丁目	249	653	345	308	0.136	4,801
若葉町 1丁目	1,104	2,471	1,290	1,181	0.269	9,186
2丁目	669	1,615	859	756	0.154	10,487
3丁目	179	517	244	273	0.149	3,470
入間町 1丁目	1,660	3,340	2,028	1,312	0.340	9,824
2丁目	789	2,319	1,158	1,161	0.338	6,861
3丁目	414	1,198	590	608	0.167	7,174

年齢(5才階級)別人口の構成 表〔I-1-(2)〕

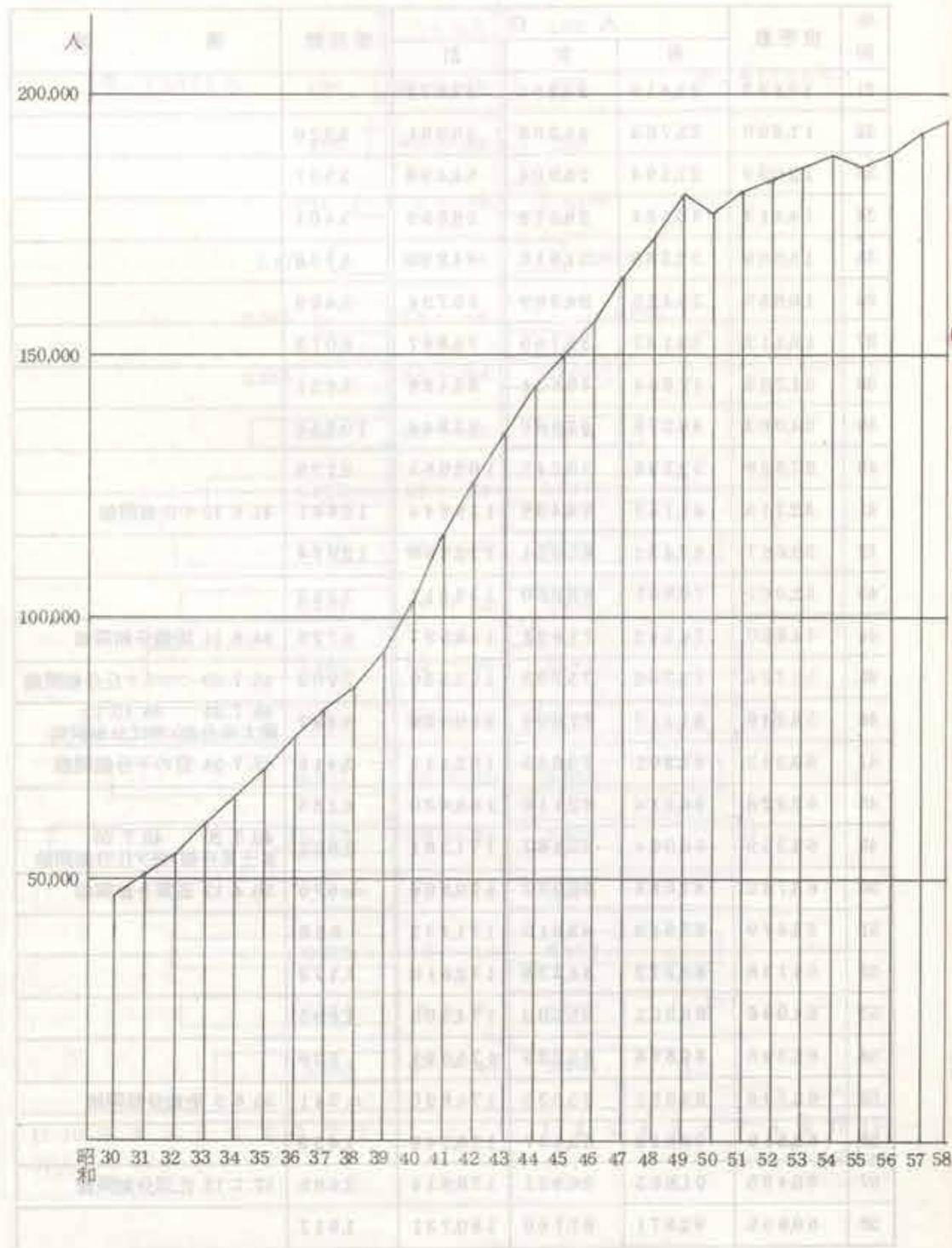


調布市の年別世帯数と人口 表〔I-1-(3)〕

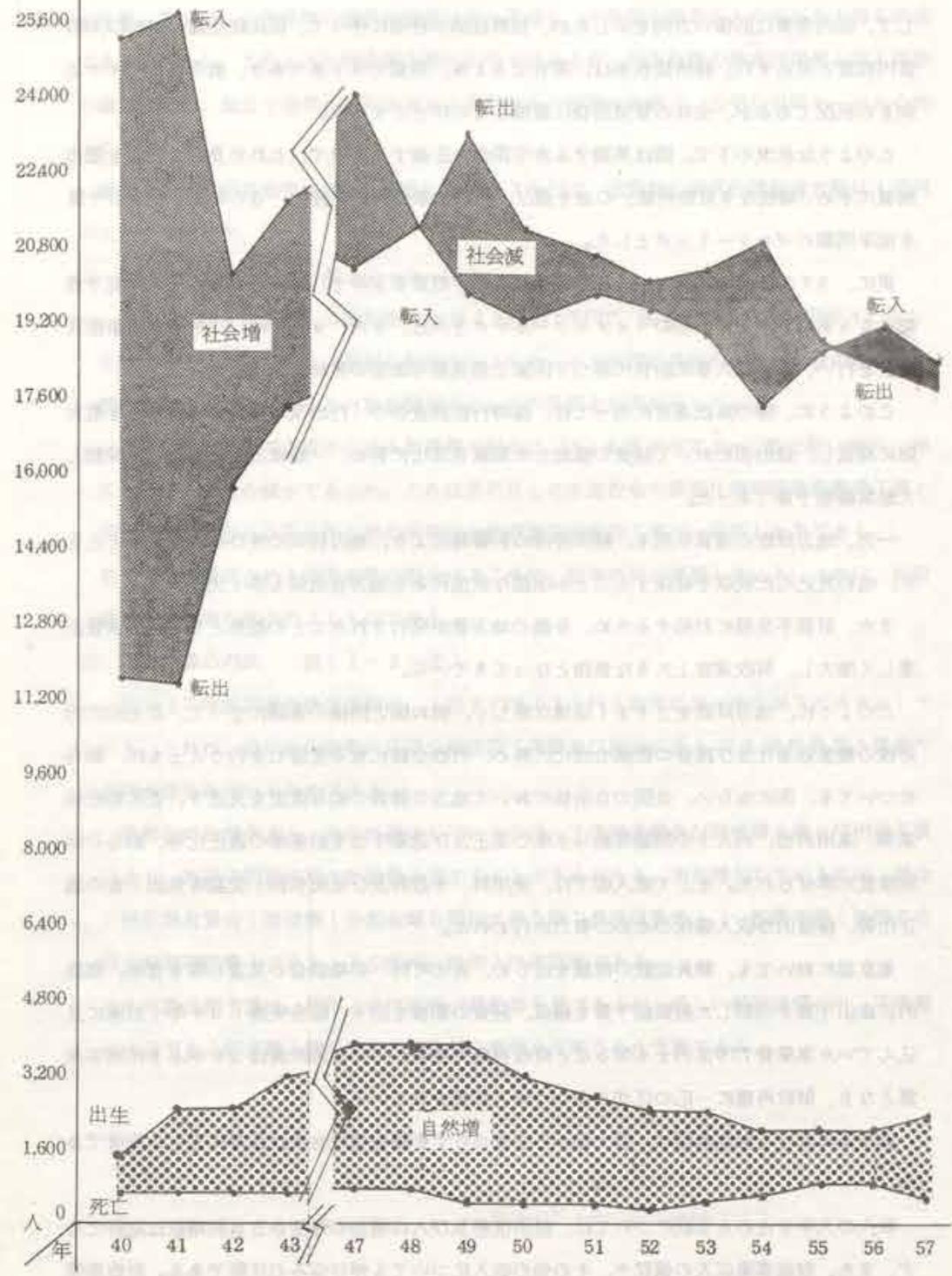
(各年1月1日現在)

年別	世帯数	人口			増加数	備考
		男	女	計		
31	10,863	23,816	23,255	47,071		
32	11,890	25,783	25,208	50,991	3,920	
33	12,909	27,594	26,904	54,498	3,507	
34	14,413	30,584	29,315	59,899	5,401	
35	15,666	32,385	31,910	64,295	4,396	
36	16,853	35,425	34,369	69,794	5,499	
37	18,112	39,107	36,760	75,867	6,073	
38	21,229	42,854	40,634	83,488	7,621	
39	24,003	48,278	45,566	93,844	10,356	
40	27,859	52,736	50,247	102,983	9,139	
41	32,715	61,145	58,499	119,644	16,661	41.6.10 中央館開館
42	39,667	67,434	65,024	132,458	12,814	
43	42,007	70,951	68,860	139,811	7,353	
44	44,880	74,545	71,992	146,537	6,726	44.8.14 国領分館開館
45	55,726	78,336	75,203	153,539	7,002	45.7.20 つつじヶ丘分館開館
46	58,248	81,417	77,609	159,026	5,487	46.7.24 46.10.1 深大寺分館・神代分館開館
47	60,242	83,201	79,243	162,444	3,418	47.7.24 宮の下分館開館
48	62,428	86,514	82,116	168,630	6,186	
49	63,359	88,094	83,187	171,281	2,651	49.7.20 49.7.20 富士見分館・緑ヶ丘分館開館
50	63,742	87,684	82,922	170,606	△675	50.4.12 若葉分館開館
51	53,479	87,819	83,613	171,432	826	
52	64,138	88,272	84,338	172,610	1,178	
53	64,936	89,305	85,200	174,505	1,895	
54	65,398	89,806	85,225	175,031	526	
55	65,746	89,655	85,035	174,690	△341	55.6.6 染地分館開館
56	66,819	90,612	85,537	176,149	1,459	
57	68,495	91,863	86,951	178,814	2,665	57.7.13 佐須分館開館
58	69,955	92,971	87,760	180,731	1,917	

調布市人口グラフ 表(I-1-(4))



人口動態の推移 表(I-1-(5))



2 財 政

昭和 57 年度のわが国の経済は、物価の安定等を背景に、個人消費の緩やかな増大を中心として、国内需要は回復の方向を示したが、世界経済の停滞に伴って、国民総生産は266兆7,000億円程度と見込まれ、経済成長率は、名目で5.1%、実質で3.1%であり、前年に比べやや上向きの状況であるが、全体の景気回復は緩慢なものにとどまった。

このような状況の下で、国は累積する赤字国債を圧縮する方針で、これに見合う財源を歳出削減に求め「増税なき財政再建」の途を選び、行政改革特例法を設け、57年度一般会計予算を前年同額のゼロシーリングとした。

更に、57年8月の閣議で、58年度予算各省庁概算要求枠を、原則として、57年度予算額より5%削減する史上初のマイナスシーリングを決定、また、9月には、「財政非常事態宣言」を行い、政府は人事院勧告に基づく国家公務員給与改定の凍結を決定した。

このように、国の財政運営に当っては、臨時行政調査会の「行政改革に関する答申」を最大限に尊重し、歳出面において経費の徹底した節減合理化に努め、一般歳出規模を厳しく抑制した超緊縮型予算であった。

一方、地方財政の運営状況も、経済停滞の影響等により、地方税収の伸びは鈍化するとともに、当初見込んだ税収を確保することが困難な状況にある地方自治体も多く見られた。

また、財源不足等に対処するため、多額の地方債が発行されたことの結果として、公債費が著しく増大し、財政運営上大きな負担となってきた。

このように、地方財政をとりまく環境は厳しく、概ね国と同様の基調に立って、自主的に行政の簡素効率化及び経費の節減合理化に努め、行政全般に亘る見直しを行うとともに、給与についても、国にない、全国の自治体において地方公務員の給与改定を見送り、更に初任給基準、運用昇給、わたりの問題等給与水準の是正及び退職手当支給基準の適正化等、給与の抑制措置が講ぜられた。そして歳入面では、使用料、手数料及び住民負担（受益者負担）金の適正化等、積極的な収入確保のための努力が行われた。

東京都においても、職員定数の削減をはじめ、各市町村への補助金の見直し等を含め、徹底的に歳出予算を抑制した超緊縮予算を編成、経費の節減を図り、総合実施（3ヶ年）計画に見込んでいた事業費770億円をも削るなど財政再建に努め、56年度決算は20年ぶりに黒字決算となり、財政再建に一応の区切りをつけたと評価されている。

調布市における財政事情は、国・都から少なからず影響を受け台所は非常に苦しい実情である。

収入の大半を占める市税については、経済情勢及び人口増加の停滞から自然増収は期待できず、また、収益事業収入の減収や、その他の収入についても伸び悩みの状態である。財政事情

の極めて厳しい中で、調布市は、市税の徴収等財源確保に最大限の努力をした。

他方、歳出面では、行政需要の増大による施設の増加、これら施設の維持管理経費をはじめ、人件費、扶助料、公債費等の義務的経費は年々累増し、市税等の経常収入の伸びを上回る状況である。しかし、このような財政構造悪化の中ではあるが、行政経費の徹底的節減と収入財源の確保に努め、健全で効果的な財政運営と長期計画の着実な実施で、公平な市民サービスの向上に努力した。

昭和 57 年度図書館費決算は、1億2,728万3千円で、図書館の経常的管理運営費は1億円の大台を突破した。

(1) 年度別決算の推移 表〔I-2-(1)〕

昭和 57 年度決算は、市費総額 318 億 5,524 万 5 千円で、図書館開設当時の昭和 41 年と比較すると 15 倍であり、副都心新宿から 15 分という地理的条件は、行政需要の増大と多様化する住民ニーズを生み、首都圏都市としての発展を如実に示している。

本年度決算の中で市費に占める教育費の割合は、15.1%で前年に比べ、額で約14億円、率において5.4%の減少であった。これは老朽化した木造校舎の鉄筋化等学校施設整備工事と図書館分館及び八ヶ岳少年自然の家等社会教育施設の建設工事が一段落した為である。

更に、教育費に占める図書館費の割合は2.7%で、前年に比べ半減している。これは、施設建設工事費等の減少によるものである。

(2) 図書館費の内訳 表〔I-2-(2)〕

昭和 57 年度図書館費決算額は、1 億 2,728 万 3 千円と前年に比べ半分以下にダウンしている。これは、前年度決算額に佐須分館建設工事費及び開設に係る初年度調弁費用1億数千円が含まれているためである。

各節毎に比較すると、大巾に減少しているのは、工事請負費及び図書購入費と庁用器具費であり、施設の開設に多大な経費を要することがうかがえる。また増加しているのは、賃金（嘱託職員賃金）報償費（分館全曜日開館に伴う協力員報償費等）、一般需用費（新設の佐須分館管理経費）であり、その他は、前年とほぼ同額である。

58年度当初予算は、前年とほぼ同様の節約型予算であるが、厳しい財政事情の中、図書館の生命である図書購入費の増額等図書館の実情を理解された予算である。

年度別決算額の推移 表〔1-2-(1)〕

科目	年度						
	40 ※	41 ※	44	45	46	47	48
市費総額	1,729,966	2,111,464	3,923,523	6,114,405	7,675,139	11,677,143	12,832,627
指数		100	186	290	363	553	608
教育費	468,770	486,168	1,002,093	1,512,054	1,915,678	2,355,806	4,371,727
指数		100	206	311	394	485	899
市費に占める割合		23.0%	25.5%	24.7%	25.0%	20.2%	34.0%
図書館費	18,960	5,914	44,412	48,253	45,272	34,140	97,698
(図書費)		2,044	4,787	5,255	12,029	15,435	20,878
(建設費)	17,348	0	3,774	30,880	17,800	0	53,287
(その他)		3,870	35,851	12,118	15,443	18,704	23,533
指数		100	751	816	766	577	1,652
教育費に占める割合		1.2%	4.4%	3.2%	2.4%	1.4%	2.2%
人口	102,983	119,664	146,537	153,539	159,026	162,444	168,630
指数		100	122	128	133	136	141
人口1人当たり市費	16,798	17,647	26,771	39,830	48,263	69,247	74,921
同教育費	4,552	4,063	6,836	9,850	12,046	13,970	25,524
同図書館費	184	49	303	314	285	202	570
同図書購入費		17	33	34	75	92	122

※ 図書館費に職員の給与等人員費は含まれていない。
 ※ 人口は1月1日現在。
 ※ 人口1人あたりの金額は単位円で示す。
 ※ 40、41年度は開館準備年度と開館年度。

(単位 千円)

49	50	51	52	53	54	55	56	57
14,619,067	16,440,767	18,127,507	20,942,418	21,746,176	24,331,014	26,876,122	30,229,207	31,855,245
692	778	859	992	1,030	1,153	1,273	1,431	1,509
4,090,834	5,484,729	4,196,469	3,480,825	4,532,321	4,647,420	5,126,437	6,195,692	4,802,891
841	1,128	863	716	932	956	1,054	1,274	988
28.0%	33.3%	23.1%	16.6%	20.8%	19.1%	19.1%	20.5%	15.1%
173,055	64,615	53,695	68,539	83,015	134,977	91,971	275,630	127,283
40,083	26,225	17,577	20,227	22,004	55,242	35,314	58,291	51,898
100,689	0	0	0	0	0	0	151,548	0
32,283	38,390	36,118	48,312	61,011	79,735	56,657	65,791	75,385
2,926	1,092	908	1,159	1,404	2,283	1,555	4,661	2,152
4.2%	1.1%	1.3%	2.0%	1.8%	2.9%	1.8%	4.4%	2.7%
171,281	170,606	172,610	174,505	175,031	174,690	176,149	178,814	180,731
143	143	144	146	146	146	147	149	151
85,689	95,902	105,020	120,010	124,242	139,281	152,576	169,054	176,258
23,978	31,993	24,311	19,947	25,894	26,603	29,103	34,649	26,575
1,014	376	311	393	474	772	522	1,541	704
235	152	102	116	126	316	200	326	287

図書館費内訳表 表(1-2-(2))

()内は内訳

節 項	53 年 度		54 年 度		55 年
	決 算 額	百分比	決 算 額	百分比	決 算 額
報 酬	384,000	0.46%	363,000	0.27%	187,500
賃 金	3,672,109	44.2	14,700	0.01	21,000
報 償 費	1,413,200	1.70	2,408,900	1.78	2,848,480
旅 費	286,920	0.35	309,180	0.23	283,630
交 際 費	10,000	0.01	10,000	0.01	10,000
一 般 需 用 費	16,522,551	19.90	17,926,003	13.29	23,156,119
食 糧 費	29,930	0.04	29,800	0.02	39,930
役 務 費	1,022,400	1.23	1,314,220	0.97	1,256,754
委 託 料	12,982,722	15.64	17,801,465	13.19	16,607,244
使用料及び賃借料	299,650	0.36	296,350	0.22	404,950
工 事 請 負 費	20,639,900	24.86	25,981,000	19.25	7,190,600
原 材 料 費	122,350	0.15	126,620	0.09	127,420
備 品 購 入 費	25,548,934	30.78	68,186,199	50.51	39,727,784
(図 書 購 入 費)	(22,044,384)	(26.51)	(55,241,399)	(40.92)	(35,313,669)
(機 械 器 具)	(1,266,000)	(1.53)	(562,600)	(0.42)	(251,000)
(視 聴 覚 教 材)	(2,277,200)	(2.74)	(1,841,250)	(1.36)	(2,113,000)
(庁 用 器 具)	(1,350)	(0.002)	(10,540,950)	(7.81)	(2,050,115)
負 担 金 及 び 交 付 金	71,020	0.09	70,880	0.05	100,530
補 償 補 填 及 び 賠 償 金	0	0	0	0	0
投 資 及 び 出 資 金	0	0	129,090	0.10	0
公 課 費	8,800	0.01	8,800	0.01	8,800
合 計	83,014,486	100	134,976,207	100	91,970,741

図書館費内訳表 (単位 円)

度	56 年 度		57 年 度		58 年度当初予算
	百分比	決 算 額	百分比	決 算 額	
0.20	450,000	0.16	450,000	0.35	450,000
0.02	19,800	0.007	546,600	0.43	2,613,000
3.10	2,941,600	1.07	3,970,300	3.12	3,864,000
0.31	330,520	0.12	337,000	0.26	296,000
0.01	0	0	0	0	0
25.18	25,081,486	9.10	28,340,439	22.27	28,463,000
0.04	49,920	0.02	45,660	0.04	48,000
1.37	1,539,630	0.56	1,565,650	1.23	2,481,000
18.06	21,960,808	7.97	20,087,108	15.78	22,423,000
0.44	423,020	0.15	424,320	0.33	444,000
7.82	15,154,800	5.498	14,818,000	11.64	1,000,000
0.14	129,560	0.05	148,900	0.12	140,000
43.19	70,878,786	25.71	56,439,480	44.34	57,957,000
(38.39)	(58,291,286)	(21.15)	(51,897,760)	(40.77)	(54,000,000)
(0.27)	(97,580)	(0.04)	(77,000)	(0.06)	(600,000)
(2.30)	(2,300,000)	(0.83)	(2,257,000)	(1.77)	(2,100,000)
(2.23)	(10,189,920)	(3.69)	(2,207,720)	(1.74)	(1,257,000)
0.11	100,320	0.04	100,320	0.08	77,000
0	0	0	0	0	30,000
0	167,620	0.06	0	0	0
0.01	8,800	0.003	8,800	0.01	9,000
100	275,629,870	100	127,282,577	100	120,296,000

Ⅱ 図書館の概況

昭和41年に調布市立図書館（現在の中央館）が開館してから調布市における図書館活動がはじまった。昭和44年には、分館第一号の国領分館が開館、以後年次的に分館を開館し、現在は中央館を含め11館をかぞえるに至った。

この分館網システムは、人口2万人に1館、半径800メートルに1館、2つの小学校区に1館、の三原則を満たすように計画され、本年度佐須分館の開設により、調布市における分館網システムは、所期の目的が達成された。

現在残されている大きな課題としては、新中央館の早期実現である。狭隘となった現中央館にかわって、10の分館の中核機能を果たすべく新中央館が完成されたとき、調布市立図書館は、又新しい第一歩を踏み出すことになるといえる。

1. 運営方針

調布市立図書館は、市民の参加と協力のもとに、自立した市民の連帯と地域に根ざした市民文化の創造に向けて積極的な図書館活動を展開していく。

- (1) 買い物カゴを下げた誰でも気軽に立ち寄れる図書館づくりを目指し、市民のだれもが自由に図書館サービスを受けられる様にサービスの拠点を広げていく。
- (2) 座して利用を待つという静態的な活動に終始することなく積極的に図書館側から市民に働きかける動態的な図書館活動を目指す。
- (3) 子どもに良い読書環境を整備するため、各館に独立した児童室を設け専任の職員を配置し館内・館外に対し、あらゆる機会をとらえて児童サービスを行う。
- (4) 市民の身近かなところで文化的事業（講座、講演会、著者を囲む読書会、座談会、名画鑑賞会等）を開催し、文化創造の拠点として積極的な図書館活動を展開する。
- (5) 市民に充実した図書館サービスを保障するため、種々の機会をとらえて組織的に研修を行い職員の資質の向上をはかる。

2. 昭和57年度 図書館重点事業

図書館は、文化の伝承にとどまらず文化創造の拠点として、積極的な活動を展開し、読書の普及と読書によって啓発された市民の学習意欲を的確に受けとめ、だれでも、自由に図書館サービスを受けられるよう、その拠点を広げ、図書館網機能をフルに活用し、次の重点事業を中心に各々の事業の充実を図った。

ア 蔵書の充実

市民との連帯を深め、市民図書館としての責務を果たすため、限られた予算を効果的に執行し、市民要求に即応できるよう蔵書の充実に努めた。

- (ウ) 新刊書を中心に、市民のニーズにマッチした資料の選択と収集
- (イ) 参考図書網羅的な収集と内容の充実・強化
- (ウ) 郷土資料及び行政資料の積極的な収集
- (ウ) 内容的に古い資料の買替え・補充による、資料面でのサービス向上

イ 図書館網の整備

調布市長期計画に基づく、図書館網計画は、本年度開設の佐須分館をもって、所期の目的は達成された。

この佐須分館の開設により、図書館利用の最も低かった地域への図書館サービスが保障される。

ウ 市民と連帯した文化的事業の実施

図書館資料を媒体とする読書啓蒙活動と並行して、読書によって生まれた学習意欲と市民の心の中にある文化的欲求を的確に受けとめ、育てるため社会教育関連機関等と協力し、市民の文化に対する自覚と創造を促し、だれでも気軽に学習に参加できる機会を設け、市民と連帯した文化活動を推進した。

エ その他日常業務の充実

過去の経験と反省を生かし、今日までの蓄積を基盤に図書閲覧、貸出業務を遂行しながら、前年に引き続き、次の事業の充実に努めた。

- (ウ) 児童対象のおはなし会、小学生読書会、中学生読書会等の実施
- (イ) 学校、保育園等他施設及び地域との協力
- (ウ) 地域文庫の育成と援助
- (ウ) 図書館PRと広報紙の発行
- (ウ) 障害者サービスの充実
- (ウ) AVL業務の充実

3. 図書館配置図

基本計画に基づいて配置された各分館ごとに奉仕対象地域を設定すると、図〔Ⅱ-2-(1)図書館配置図〕のようになる。

4. 各館別施設概況

各館の施設は、表〔Ⅱ-3-(1)〕のようになっている。

図書館配置図 図〔Ⅱ-2-(1)〕

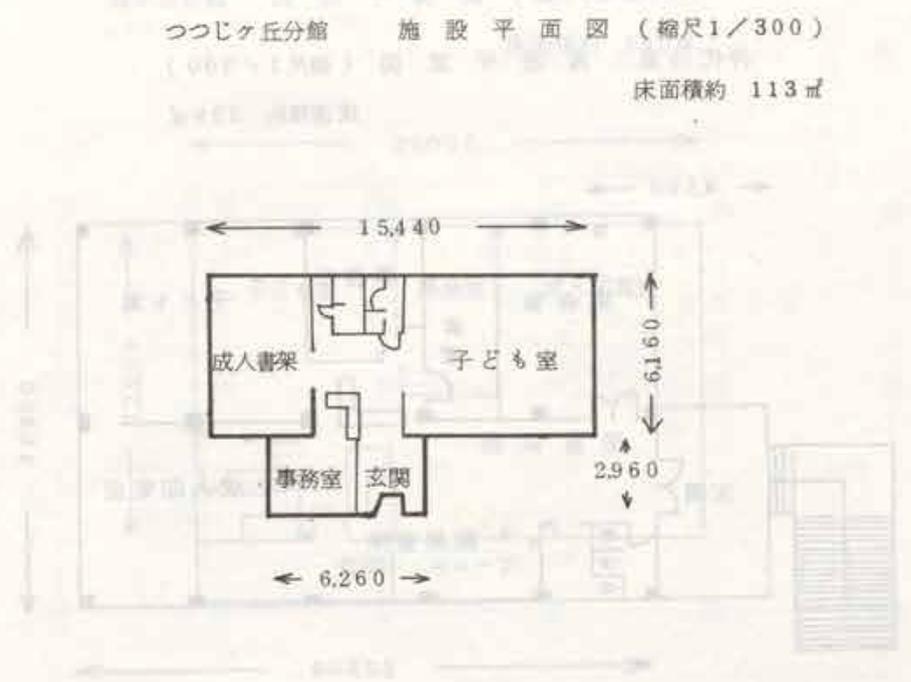
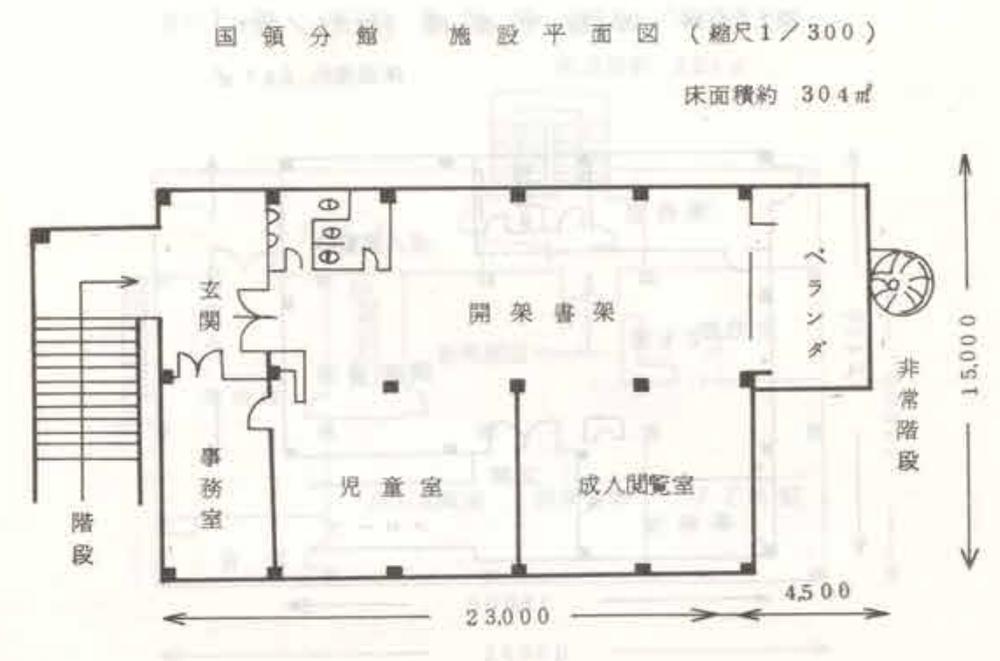
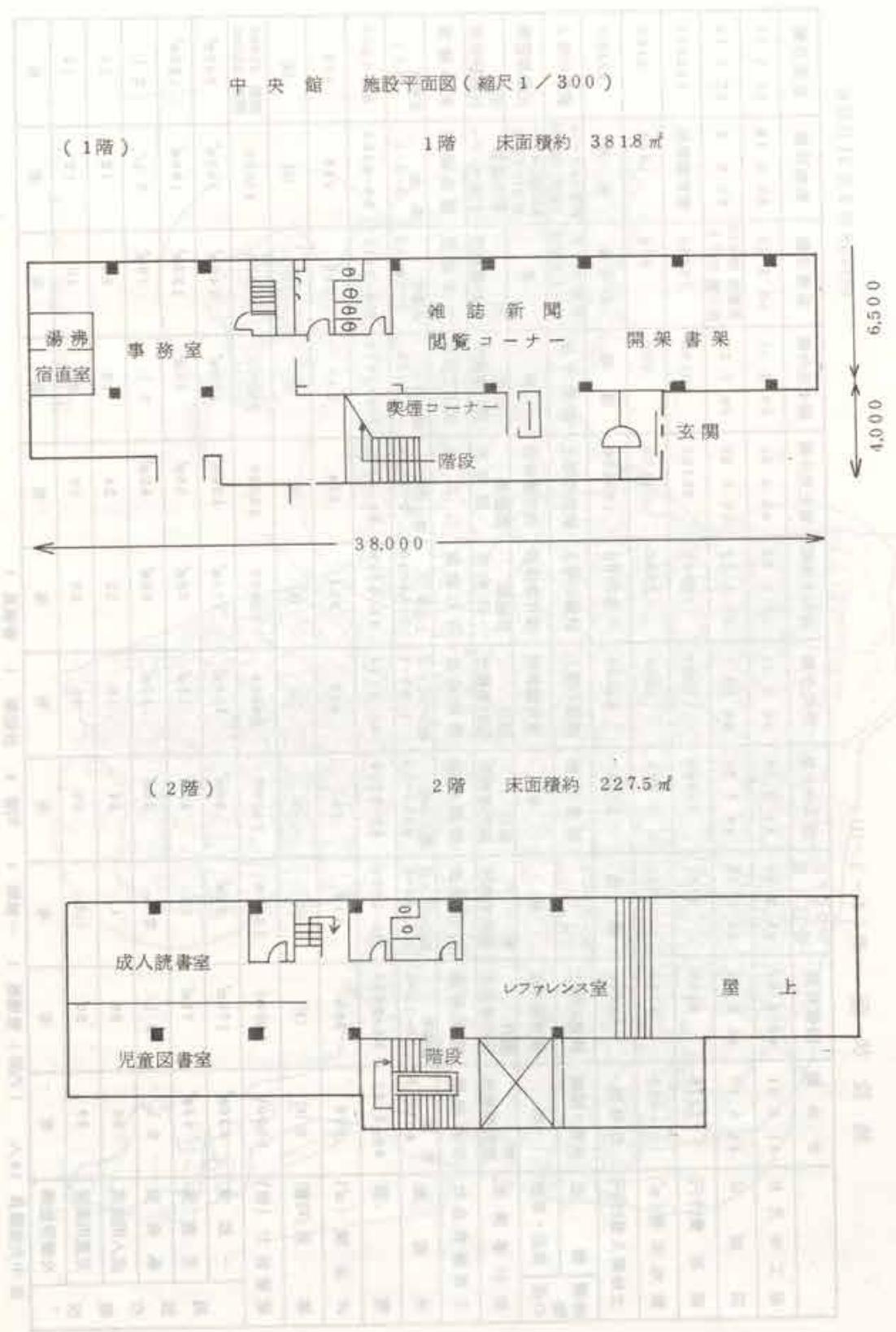


施設状況表〔Ⅱ-3-(1)〕

昭和58年3月31日現在

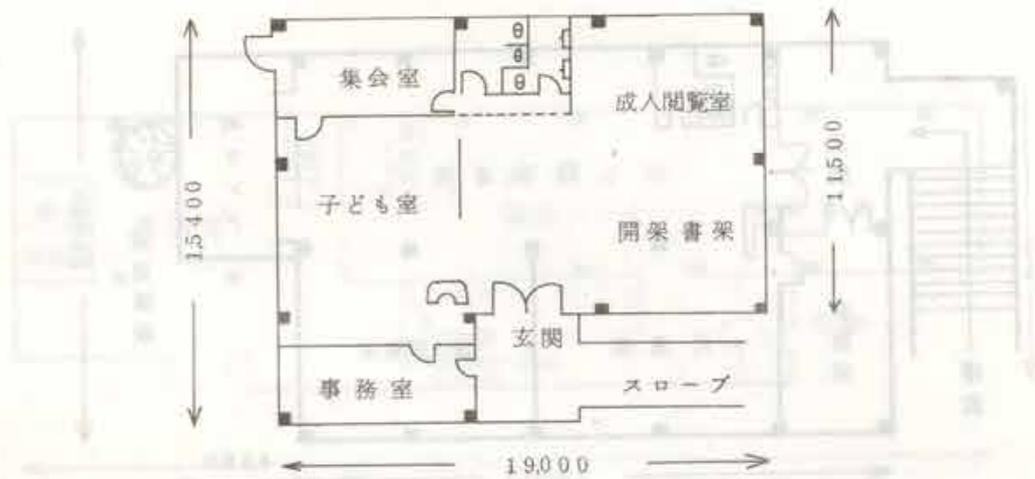
	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	富士見分館	緑ヶ丘分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	
竣工年月日	41.3.31	44.3.31	45.3.28	46.2.28	46.3.31	47.3.31	49.3.31	49.3.31	50.3.31	55.5.19	57.3.31	
開館日	41.6.10	44.8.14	45.7.20	46.7.24	46.10.1	47.7.24	49.7.20	49.7.20	児童室 50.4.12 成人室 50.7.5	55.6.6	57.7.13	
建設費(千円)	17,348	9,120	3,774	13,800	17,080	18,000	30,793	30,190	77,654	東京都負担	143,651	
敷地面積(㎡)	628	1,723	270	826	1,980	2,000	1,653	800	879	1,644	2,166	
土地購入費(千円)	市有地	53,100	借地	27,497	84,000	80,000	162,000	借地	市有地	借地	92,867	
建築物の造り	鉄筋2階建 併設・単独	鉄筋の階上 保育園併設	コンクリート ブロック 単	鉄骨平家 単	鉄筋の階上 保育園併設	鉄筋の階上 保育園併設	鉄筋の階上 保育園併設	鉄骨平家 単	鉄筋コンクリート 2階建 単	鉄筋コンクリート 3階建 1階部分 地域福祉センター 都営住宅併設	鉄筋の階上 児童館併設	
設計事務所	和設計事務所	桜井設計事務所	和設計事務所	桜井設計事務所	桜井設計事務所	葵建築研究所	葵建築研究所	つかさ設計事務所	和設計事務所	都市建築計画センター	相和技術研究所	
工事請負会社	石原建設	高尾建設	内村建設	増岡建設	増岡建設	白石建設	山口組	田辺工務店	大栄建設	藤田建設	東海建設	
所在地	希田 4-17-5	国領町 3-12-1	西つつじヶ丘 4-23-6	深大寺町 2266-14	西つつじヶ丘 1-40-5	上石原 3-34-10	富士見町 2-3-26	緑ヶ丘 2-25	若葉町 3-16-13	染地 3-3-1	佐須町 657	
電話	88-5181	84-2000	85-2000	85-3350	85-0054	86-5798	85-4376	300-7672	309-3411	88-8393	85-1306	
床面積(㎡)	609	304	113	257	339	324	324	240	516	290	575	
職員(司書)	9(6)	(3)	(2)	(3)	(3)	(3)	(2)	(3)	(5)	(3)	(3)	
蔵書能力(冊)	50,000	30,000	10,000	24,000	25,000	23,000	20,000	20,000	34,000	35,000	開架 35,000 閉架 50,000	
施設の概況	一般室	230㎡	175㎡	26㎡	90㎡	126㎡	111㎡	136㎡	120㎡	146㎡	153㎡	245㎡
	児童室	63㎡	71㎡	52	63㎡	72㎡	56㎡	56㎡	64㎡	123㎡	105㎡	80㎡
	集会室	なし	なし	なし	28㎡	52㎡	66㎡	63㎡	なし	78㎡	なし	なし
	成人用座席	60	30	4	24	30	32	24	20	24	12	24
	児童用座席	30	30	(18)	30	30	30	30	30	40	12	12
冷暖房設備	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	

※中央館職員 15人 (内訳) 管理職 1 一般職 4 司書 8 技能職 1 警備員 1



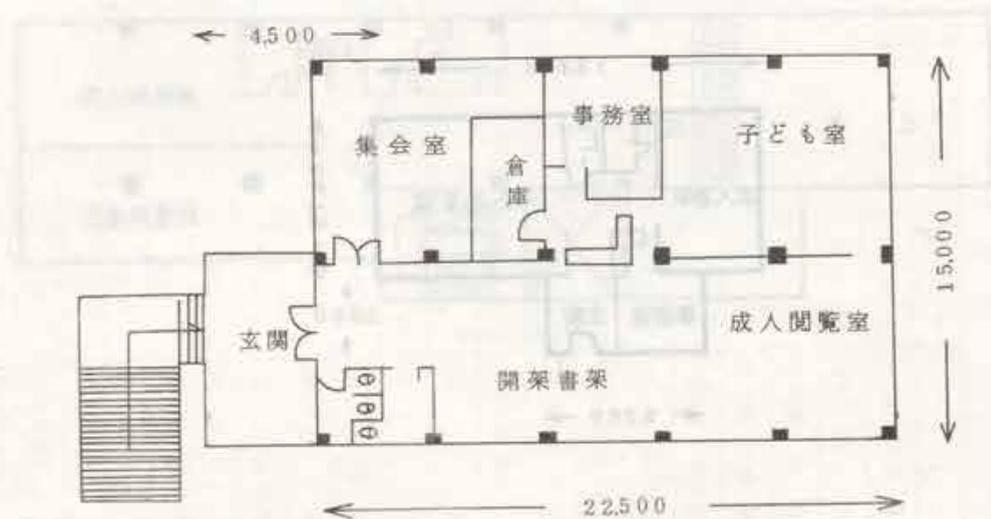
深大寺分館 施設平面図 (縮尺1/300)

床面積約 257㎡



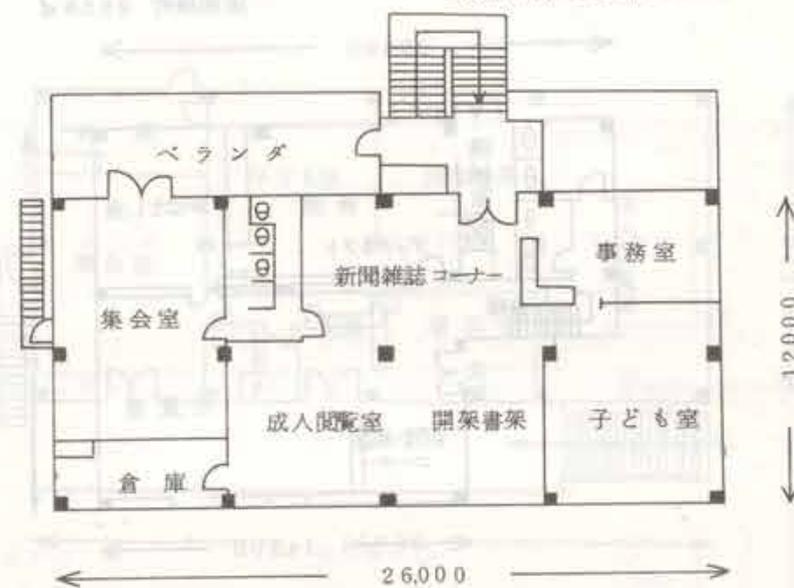
神代分館 施設平面図 (縮尺1/300)

床面積約 339㎡



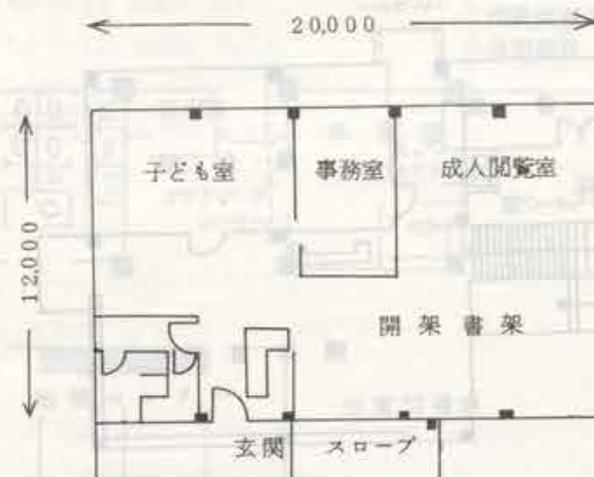
宮の下分館 施設平面図 (縮尺1/300)

床面積約 324㎡



緑ヶ丘分館 施設平面図 (縮尺1/300)

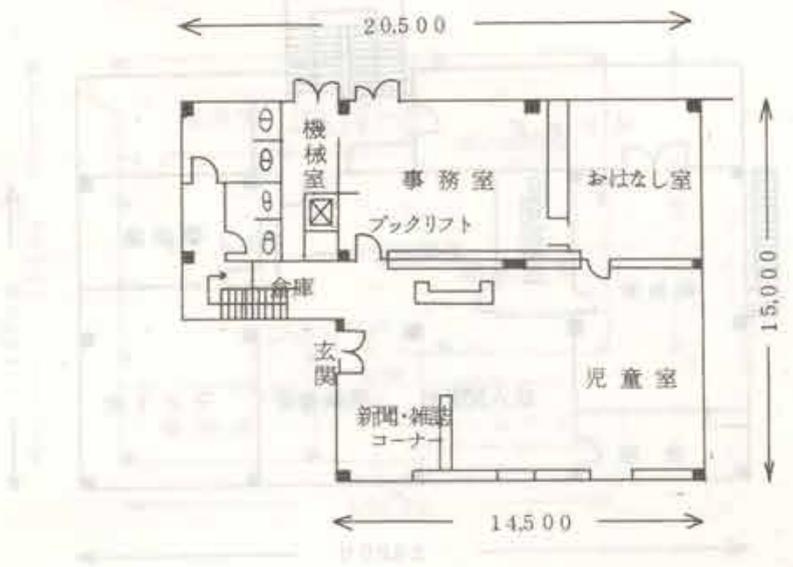
床面積約 240㎡



若葉分館 施設平面図 (縮尺1/300)

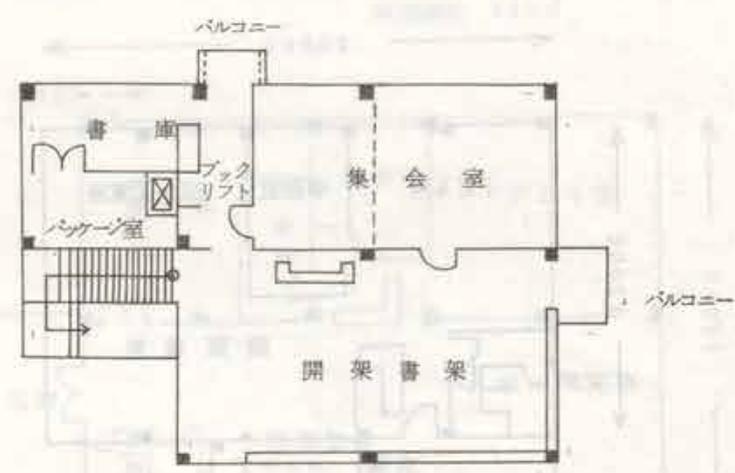
床面積約 255.8㎡

1 階



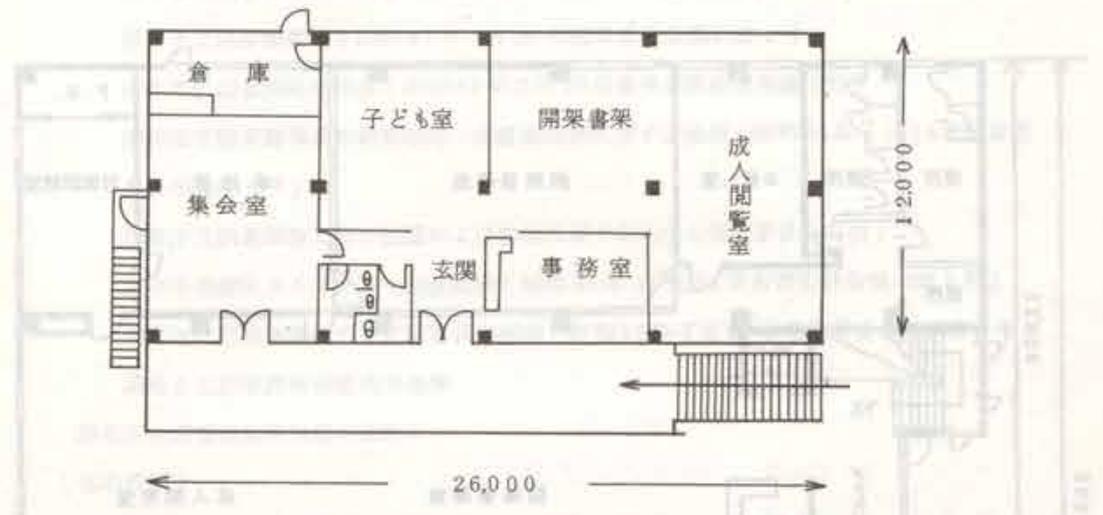
2階 床面積約 259.6㎡

2 階



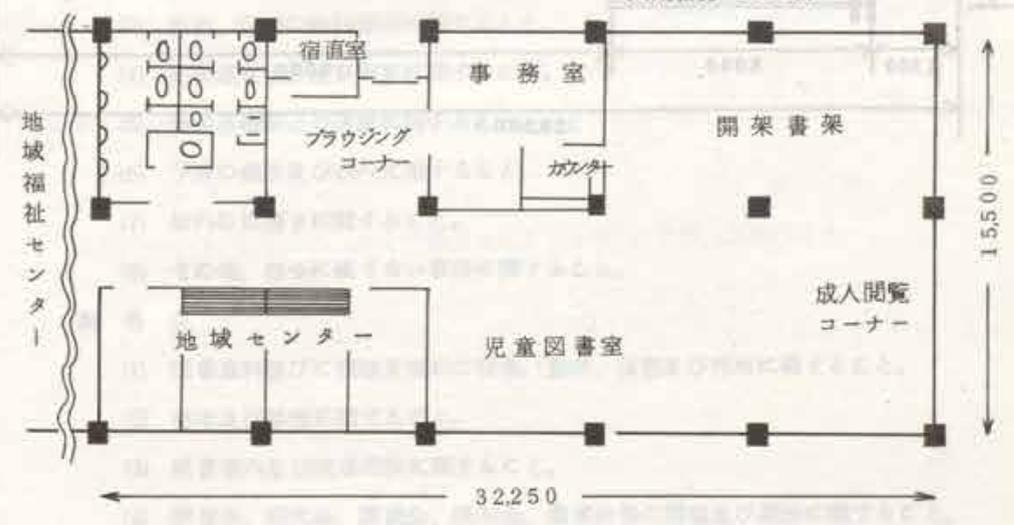
富士見分館 施設平面図 (縮尺1/300)

床面積約 324㎡



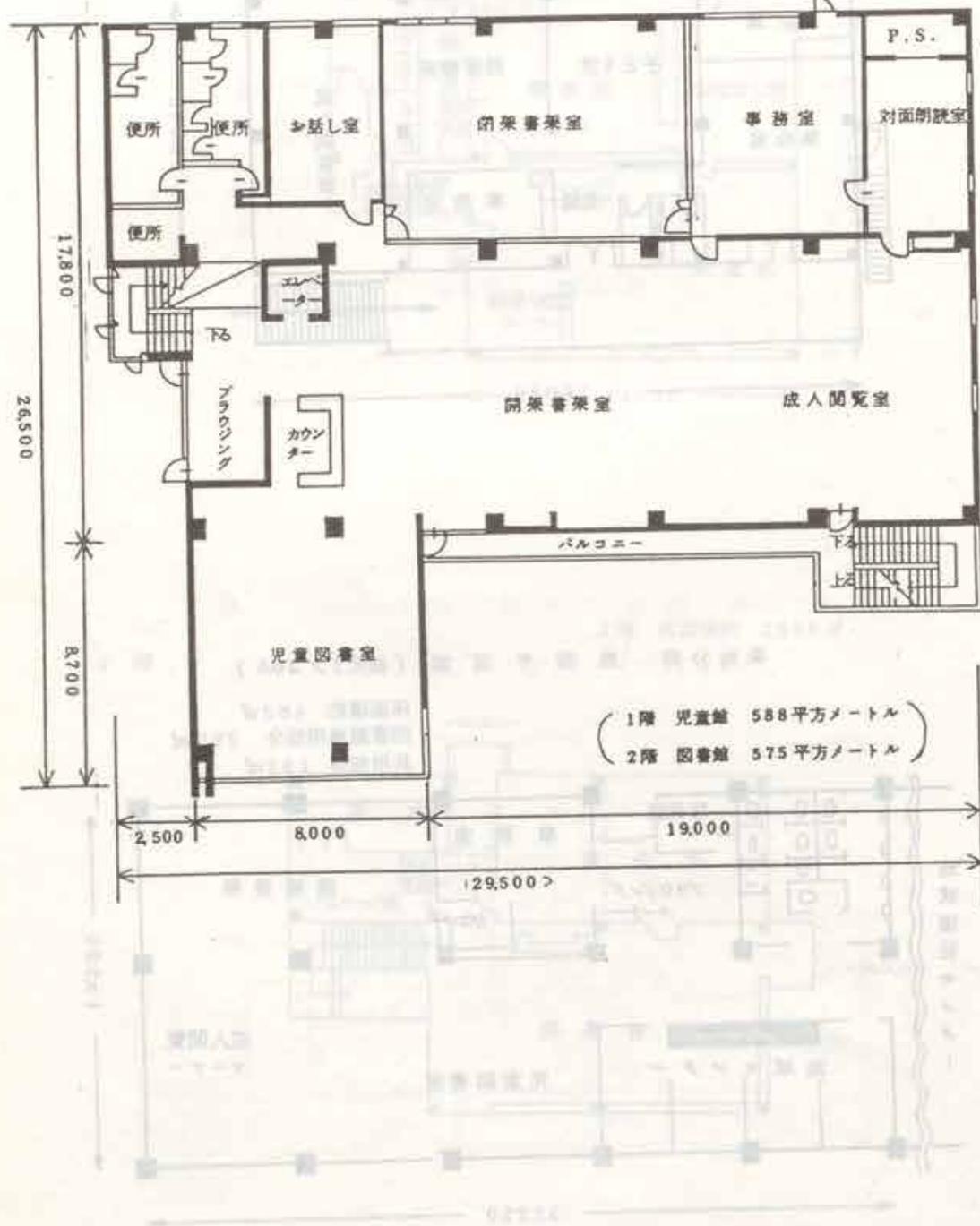
染地分館 施設平面図 (縮尺1/300)

床面積約 482㎡
図書館専用部分 290㎡
共用部分 192㎡



佐須分館 施設平面図 (縮尺 1/200)

床面積約 575 ㎡



5. 運営組織と事務分掌

図書館運営に関する条例、規則は次のとおりである。

調布市立図書館設置条例(昭和41年3月30日条例第10号)

調布市立図書館館則(昭和41年3月30日教育委員会規則第1号)

調布市立図書館処務規程(昭和41年3月30日教育委員会規程第1号)

調布市立図書館職員の勤務時間・休憩時間等に関する規程(昭和41年4月16日教育委員会規程第4号)

調布市立図書館協力員の設置および勤務に関する内規(教育委員会内規)

調布市視聴覚ライブラリー設置規則(昭和45年11月11日教育委員会規則第5号)

調布市立図書館録音テープ図書貸出要綱(昭和56年7月25日教育委員会要綱第3号)

調布市立図書館集会室使用基準

調布市立図書館処務規程<抜粋>

(係の設置)

第2条 館に次の係を置く。

- (1) 庶務係
- (2) 図書係

(分掌事務)

第3条 各係の分掌事務は、次のとおりとする。

庶務係

- (1) 公印の保管に関する事。
- (2) 文書の收受、発送に関する事。
- (3) 施設、設備の維持管理に関する事。
- (4) 企画運営統計及び調査に関する事。
- (5) 関係各機関との連絡に関する事。
- (6) 予算の編成及び執行に関する事。
- (7) 館内の取締りに関する事。
- (8) その他、他係に属さない事項に関する事。

図書係

- (1) 図書資料並びに視聴覚資料の収集、整理、保管及び利用に関する事。
- (2) 整本及び修理に関する事。
- (3) 読書案内及び読書相談に関する事。
- (4) 読書会、研究会、講演会、映写会、鑑賞会等の開催及び奨励に関する事。

- (5) 郷土資料に関すること。
- (6) 図書室の利用並びに管理に関すること。
- (7) 図書資料の相互貸借に関すること。

調布市立図書館協力員の設置および勤務に関する内規

- 第 1 条 図書館活動の振興と、市民と図書館の連帯を深めるため、図書館協力員（以下「協力員」という。）を置く。
- 第 2 条 協力員は、図書館長の指導のもとに、図書館職員に協力し、業務に従事する。
- 第 3 条 協力員は、図書館長の推せんにより、教育長が委嘱する。
- 第 4 条 協力員の定数は10名以内とする。
- 第 5 条 次の各号の一に該当する者は、協力員になることはできない。
 - (1) 禁治産者および準禁治産者
 - (2) 禁錮以上の刑に処せられた者
- 第 6 条 協力員が、次の各号の一に該当する場合は委嘱を解くことができる。
 - (1) 自己の都合により解嘱を申し出た場合
 - (2) 刑事事件に関して起訴された場合、または、協力員としてふさわしくない非行があった場合
 - (3) 予算の減少その他教育長が委嘱を解くことを適当と認めた場合
- 第 7 条 協力員の勤務日数は、原則として週4日とする。ただし、図書館長が特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。
 - 2 協力員の勤務時間は、午後1時から午後5時30分までとする。
- 第 8 条 協力員の報償費は、調布市における臨時的職員（一般事務）賃金の時等相当額に、勤務時間を乗じた額に見合う程度とする。
- 第 9 条 協力員は、所定の様式により日誌を作成し、図書館長に提出するものとする。

附 則

この内規は、昭和50年4月1日から施行する。

調布市立図書館録音テープ図書貸出要綱

第 1 目的

この要綱は、一般出版物のままでは図書資料を利用できない者に教養、調査、レクリエーション等に係る聴覚資料（以下「録音テープ図書」という。）を貸し出すことにより、図書館利用の拡大を図ることを目的とする。

第 2 対象

録音テープ図書の貸出を受けることができる者（以下「利用者」という。）は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 視覚障害者
- (2) 寝たきり老人
- (3) 重度の肢体不自由者
- (4) 前各号に掲げるもののほか、図書館長が適当と認めたる者

第 3 利用方法

録音テープ図書の利用方法は、調布市立図書館館則（昭和41年調布市教育委員会規則第1号）第6条、第9条及び第10条の規定の例による。ただし、図書館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

2 第2第1号に規定する者の利用方法は、郵便法（昭和22年法律第165号）第26条第1項第3号の規定により、差し出すことができる。

第 4 損害賠償の義務

利用者は、録音テープ図書の利用に際し、当該録音テープ図書を故意又は重大な過失により、亡失又は著しく汚損若しくはき損した場合は、現品又は相当の代価をもって損害額を賠償しなければならない。

附 則 この要綱は、昭和56年8月1日から施行する。

調布市立図書館集会室使用基準

第1 この基準は、調布市立図書館集会室（以下「集会室」という。）の使用について、必要な事項を定めるものとする。

第2 集会室の名称及び収容人員は、次のとおりとする。

名 称	収 容 人 員
調布市立図書館深大寺分館集会室	30人
調布市立図書館神代分館集会室	30人
調布市立図書館宮の下分館集会室	40人
調布市立図書館富士見分館集会室	40人
調布市立図書館若葉分館集会室	55人

第3 集会室の使用時間は、休館日を除き、次のとおりとする。ただし、調布市立図書館長（以下「館長」という。）が、特に必要があると認めるときは、この限りでない。

	午 前	午 後	夜 間
時間	9時30分から 12時まで	1時から 5時まで	6時から 9時まで

備考 神代分館集会室及び若葉分館集会室は、夜間の使用ができないものとする。

第4 集会室を使用しようとする者は、使用申請書（第1号様式）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 前項に規定する使用申請書の提出は、使用しようとする日（以下「使用日」という。）の1月前（その日が休館日に当たるときは、その直後の開館日）から、使用日の前日（その日が休館日に当たるときは、その前日）までとする。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

3 集会室の使用は、官公署及び市民団体並びに市民サークルが主催する会議又は催物とし、個人が主催する催物等は使用できないものとする。

第5 使用の承認は、申込みの順序による。ただし、申込みが同時のときは、協議若しくは抽せんにより定める。

2 館長は、第4の申請について使用を承認したときは、使用承認書（第2号様式）を当該申請をした者に交付する。

第6 使用の承認を受けた者（以下「使用者」という。）が第4の規定により承認を受けた事項を変更するときは、その内容を速やかに館長に届け出て、その承認を受けなければならない。

第7 館長は、次の各号の一に該当すると認めるときは、その使用を承認しない。

- (1) 公益を害し、風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 営利を目的として使用するとき。
- (3) 管理上支障があるとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、館長が使用を不相当と認めるとき。

第8 集会室の使用は、無料とする。

第9 使用者又は入場者は、係員の指示に従って、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 入場人員は、適正収容人員を標準とすること。
- (2) 施設及び設備の管理を適正に行うこと。
- (3) 火気又は電熱器等を使用するときは、あらかじめ係員の許可を受け、火災予防及び事故防止に万全を期すること。
- (4) 集会室での飲食はしないこと。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。
- (5) 館長の許可なく、物品を販売し、又は金品の寄附募集等を行わないこと。
- (6) 環境衛生上思わしくないものを持ち込み、又は使用しないこと。
- (7) 図書館利用者及び近隣住民の迷惑となるような行為を行わないこと。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、館長が特に必要があると認めるとき。

第10 館長は、使用者が次の各号の一に該当すると認めるときは、使用の承認を取消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

- (1) 使用の目的に違反したとき
- (2) この基準、又は承認の条件に違反したとき。
- (3) 著しく騒音又は振動若しくは臭気を発する行為があったとき。
- (4) 災害その他の事故により、集会室の使用ができなくなったとき。
- (5) 工事その他の都合により、館長が特に必要があると認めるとき。

第11 第3に規定する集会室の夜間使用については、次の各号に掲げるところによる。

- (1) 使用者は、使用日午後5時までに係員と鍵の受渡しを行うこと。
- (2) 使用者は、集会室の使用を終了したときは、鍵を所定の位置へ返納すること。

第12 使用者は、集会室の使用を終了したときは、施設及び設備を原状に回復しなければならない。又、第10の規定により、使用を停止され、若しくは使用の承認を取り消されたときも同

様とする。

第13 使用者は、集会室の使用を終了したときは、使用報告書(第3号様式)を館長に提出しなければならない。

2 前項に規定する使用報告書は、使用終了後直ちに提出するものとする。又、夜間に使用した場合は、第11第2号に規定する鍵の返納と共に所定の位置に提出するものとする。

第14 使用者は、集会室の使用に際し、施設及び設備等に損害を生ぜしめた場合は、館長が相当と認める損害額を賠償しなければならない。ただし、館長がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し、又は免除することができる。

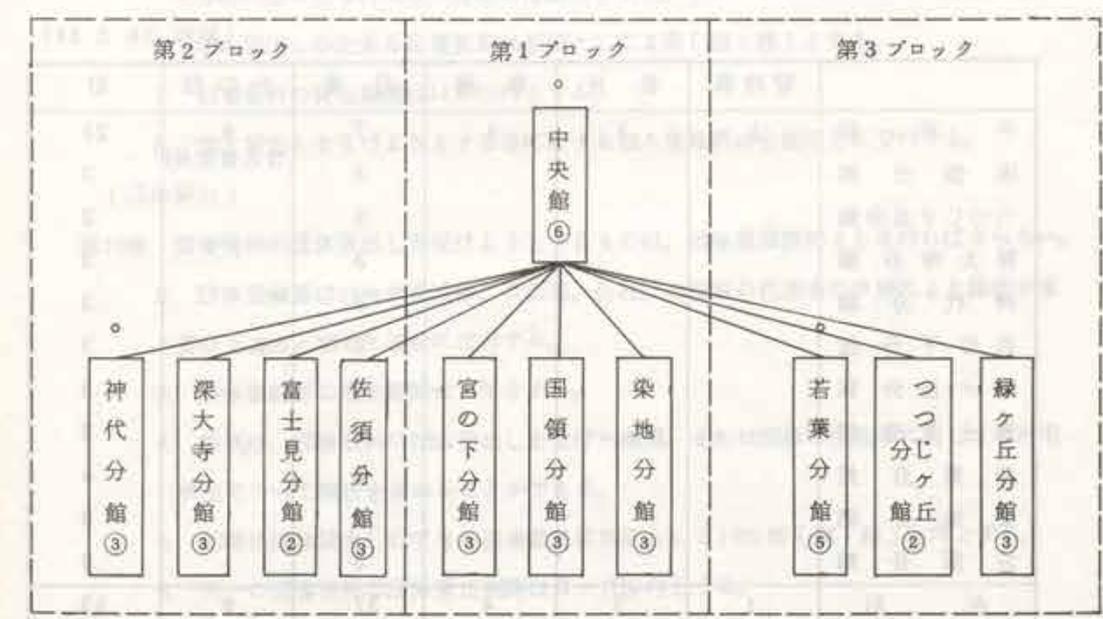
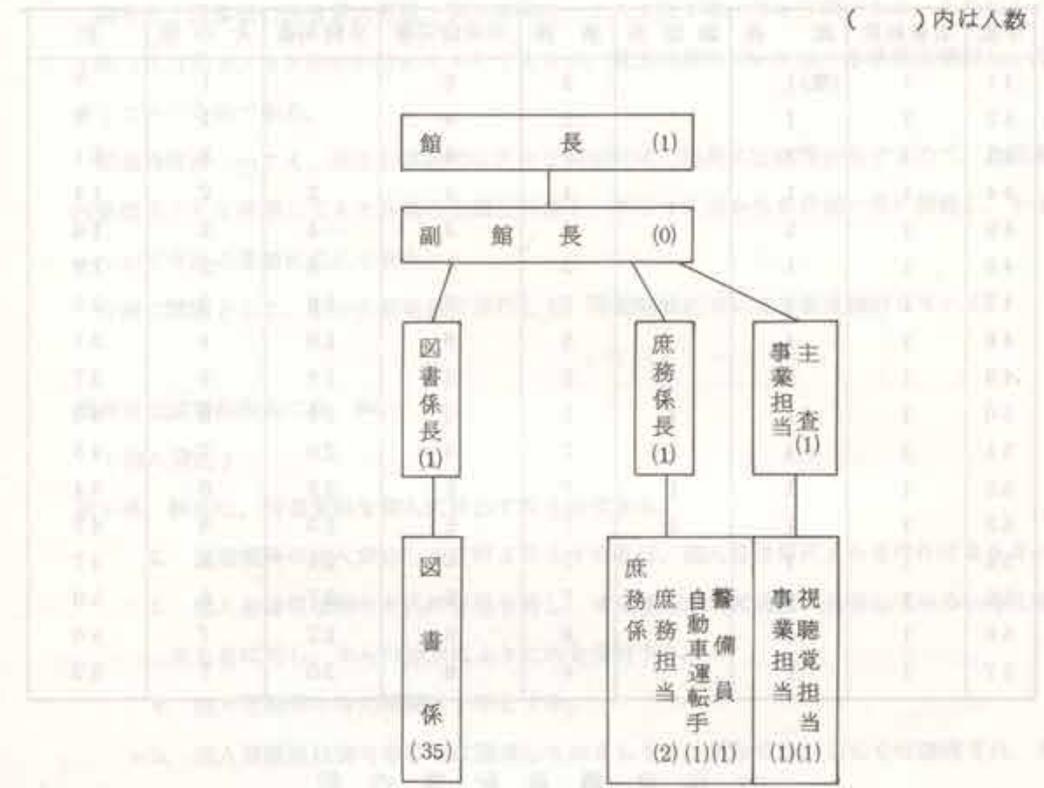
附 則

この基準は、昭和57年9月1日から施行する。

（以下は非常に小さい文字で記載された詳細な規定や補則の本文が読み取れない）

昭和58年3月31日現在

()内は人数



○内は可書数

年度別職員数の推移

年度	名誉館長	館長	副館長	事務	中央館司書	分館司書	その他	計
41	1	(兼)1		2	2		1	7
42	1	1		2	4		1	9
43	1	1		3	4		2	11
44	1	1		4	4	2	2	14
45	1	1		4	4	4	2	16
46	1	1		3	4	8	2	19
47	1	1		5	5	10	3	25
48	1	1		5	6	10	4	27
49	1	1		6	5	18	6	37
50	1	1	1	7	5	20	8	43
51	1	1	1	7	6	20	7	43
52	1	1	1	7	6	22	6	44
53	1	1	1	7	6	23	8	47
54	1	1		7	6	24	8	47
55	1	1		7	6	27	8	50
56	1	1		8	6	27	7	50
57	1	1		6	8	30	7	53

57年度職員配置内訳

(昭和 58. 3. 31)

	管理職	係長	事務	司書	その他	計
中央館	1	3	4	7	6	21
国領分館				3	(含名誉館長)	3
つつじヶ丘分館				2		2
深大寺分館				3		3
神代分館				3		3
宮の下分館				3		3
緑ヶ丘分館				3		3
富士見分館				2	1	3
若葉分館				5	1	6
染地分館				3		3
佐須分館				3		3
合計	1	3	4	37	8	53

※ 事務とは司書以外の一般職員

※ その他とは協力員、委託要員、社会教育指導員等

6. 貸出制度と開館時間 表〔Ⅱ-5-(1)〕

調布市立図書館の図書貸出冊数と貸出期間は、1人1回2冊、14日間である。これは1人1冊10日間を、49年から改めたものであるが、貸出冊数については、今後更に検討し、増冊していく方向である。

開館時間についても、現在の体制では大巾な開館時間の延長には無理が生ずるので、当面館内整理日として活用してきた分館の金曜日休館を、本年10月から全分館一斉に開館し、わずかながら市民の要望に応じてきた。

今後の課題として、新中央館建設に並行して、開館時間についても鋭意検討していく。

調布市立図書館館則<抜粋>

(個人貸出)

第9条 館長は、図書資料を個人に貸出すことができる。

2. 図書資料の個人貸出しを受けようとする者は、個人登録票によらなければならない。
3. 個人登録票は調布市内に住居を有し、また調布市内に通勤・通学している、身元確実な者に対し、本人の請求によりこれを交付する。
4. 個人登録票の有効期間は1年とする。
5. 個人登録票は貸与若しくは譲渡してはならない。貸与され、若しくは譲渡され、または紛失届の出された個人登録票は無効とする。
6. 個人貸出しの出来る図書資料は原則として2冊(部・種)とする。
7. 図書資料の貸出期間は14日以内とする。
8. 個人貸出しを受けようとする者に対する個人登録票は各館ごとに交付する。

(団体貸出)

第10条 図書資料の団体貸出しを受けようとするものは、団体登録票によらなければならない。

2. 団体登録票は社会教育団体、官公署、会社、学校等の代表者の申請により館長が審査の上適当と認められた場合に交付する。
3. 団体登録票の有効期間は1年とする。
4. 館長は、図書資料の団体貸出しを受けたい機関、または団体の代表者に対しその利用状況について報告を求めることができる。
5. 同時に団体貸出しのできる図書資料は原則として100冊(部・種)以内とする。
6. 同一の図書資料の団体貸出期間は3ヶ月以内とする。

開館時間と休館日

館名	開館時間	休館日
中央館	日曜日 10時30分～17時30分	月曜日
	火・土曜日 12時00分～19時00分	第3日曜日
	水・木・金曜日 12時00分～17時30分	第4日曜日
分館	毎日 13時00分～17時00分	
	ただし若葉分館は	
	日曜日のみ 10時30分～17時00分	

※ 休館日はこのほか 国民の祝日（この日が月曜日の場合は翌日）
 年末年始

各館の開館時間は、別表のように曜日によって異なっている。

中央館の場合は、週2回（火曜・土曜）夜間の利用者への配慮から開館時間を1時間30分延長している。

又、日曜日については、午前中からの利用にそなえ、中央館・若葉分館は、平常の開館時間を早やめ、午前10時30分から開館している。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
火曜・土曜	8	8	6	9	9	8	9	8	7	6	8	8	94
日曜日	3	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	38
平日	12	10	7	13	11	11	12	10	11	11	10	13	131
小計	23	22	16	25	24	22	24	21	21	20	21	24	263
国領分館	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243
つつじヶ丘分館	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243
深大寺分館	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243
神代分館	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243
宮の下分館	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243
緑ヶ丘分館	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243
富士見分館	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243
楽地分館	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243
佐須分館	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243
若葉分館	3	4	3	3	4	3	3	3	3	4	3	3	39
平日	16	15	11	18	17	16	20	18	18	16	18	21	204
小計	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243
合計	194	193	142	227	234	212	254	231	231	220	231	264	2,633

表(Ⅱ-5-(1)) 開館日数と開館時間

館名	月	開館日数												合計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	日数	時間
中央館	火曜・土曜	8	8	6	9	9	8	9	8	7	6	8	8	94	658
	日曜日	3	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	38	266
	平日	12	10	7	13	11	11	12	10	11	11	10	13	131	720:30
国領分館	火曜・土曜	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	日曜日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	平日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
つつじヶ丘分館	火曜・土曜	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	日曜日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	平日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
深大寺分館	火曜・土曜	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	日曜日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	平日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
神代分館	火曜・土曜	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	日曜日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	平日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
宮の下分館	火曜・土曜	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	日曜日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	平日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
緑ヶ丘分館	火曜・土曜	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	日曜日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	平日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
富士見分館	火曜・土曜	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	日曜日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	平日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
楽地分館	火曜・土曜	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	日曜日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	平日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
佐須分館	火曜・土曜	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	日曜日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
	平日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	972
若葉分館	火曜・土曜	3	4	3	3	4	3	3	3	4	3	3	3	39	253:30
	日曜日	16	15	11	18	17	16	20	18	16	18	21	21	204	816
	平日	19	19	14	21	21	19	23	21	21	20	21	24	243	1,069:30
合計	194	193	142	227	234	212	254	231	231	220	231	264	2,633	11,223	

※ 曜日別開館時間

	平日	日曜	火・土曜
中央館	5:30	7	7
若葉分館	4	6:30	4
その他の分館	4	4	4

7. 将来計画

図書館の建設は調布市の長期計画に基づいて進められてきた。

基本的には、下記の三原則を満たす分館配置をすることによって、市民の誰もが図書館を気軽に利用できるようにすることにある。

- (1) 人口2万人に一つの図書館
- (2) 半径800メートルに一つの図書館
- (3) 二つの小学校区に一つの図書館

このことにより、現在11館が活動しており図書館分館網の整備については、本年度佐須分館の開設により初期の目的は達成された。

しかし、市内全域をみた場合、長期計画策定後の人口動態等社会的変化により当初の計画からはみ出す地域に対する格差是正をはかっていかなければならない。

(新中央館構想)

昭和41年現中央館設置以来、地域に分館が建設されその蔵書数は、昭和57年度末323,167冊に達し、登録者数は年間42,354人、図書の出借冊数は694,732冊に及んでいる。この様な状況にあつて各分館の中核機能を果たすべき現中央館は規模その他あらゆる面で限界をはるかに越え、一分館的機能しか果たえず図書館活動の全ての面で支障をきたしている。

従つて、早急に近代的な設備をととのえた新中央館の建設に着手する必要がある。

現在、考えられている構想としては、調布市における教育の総合施設としての教育会館構想の中で、図書館中央館の問題を検討している。これは、ただ単に図書館と他の施設との複合施設ではなく、教育行政の中核機関としての機能及び図書館中央館・公民館等社会教育実施機関としての機能を有する総合的な施設である。調布市をよりよい地域社会としていくためのあらゆる知的サービスが実現できる体制を整え、その中で図書館(市全域を網羅する図書館機能)を位置づけ、その役割を果たしていかなければならない。

(今後の課題)

- | | |
|---------------|---|
| (1) 館内サービスの充実 | <ul style="list-style-type: none">・充実したレファレンスサービス・ゆったりとした読書環境をつくる・市と奥行のある充分な資料を整備する・各種の情報を積極的に提供していく |
| (2) 文化的事業の体系化 | <ul style="list-style-type: none">・各種サークルの指導体制の確立・広報活動を充実し図書館を地域に浸透させる・市民の求める文化的事業を体系化し積極的に推進する |
| (3) 図書館運営の組織化 | <ul style="list-style-type: none">・サービスの体系化にともなう職員の体制を確立する・利用者こん談会の開催・各種会議・研修の運営 |
| (4) 図書館施設の整備 | <ul style="list-style-type: none">・新中央館の建設・既設分館の拡充整備・社会教育施設等の積極的利用と提携 |

Ⅲ 蔵書

1. 年度別蔵書冊数 表〔Ⅲ-1〕

昭和57年度の蔵書数は20533冊増加して323,167冊となった。これは市民1人当たり1.79冊となり当面の目標としている市民1人当たり2冊に一步ずつ近づいている。

過去10年間の蔵書冊数の伸びをみると3倍強の伸びを示している。しかし、昭和52年以降の伸びは前半と比べて鈍化している。これは分館建設の大巾な遅れや、地方財政の悪化等が大きく影響を及ぼしていると思われる。

こうした中で、昭和55年、57年とそれぞれ分館が開館し調布市立図書館におけるネットワークの拠点完成し総蔵書冊数は30万冊を越えて図書保証率を少しずつ伸ばすことができた。

将来、新しい中央図書館が建設されると蔵書冊数はかなりの勢いで増加し、市民の書棚としての図書館はより一層充実した蔵書を用意することが期待されている。

2. 館別分類別蔵書冊数 表〔Ⅲ-2〕

各館の蔵書構成は、文学を中心に社会科学、歴史、芸術、家庭等の分野に重点が置かれている。児童図書は全体の約30パーセントを占めており、分館における蔵書は利用頻度の高い部分を中心に整備せざるを得ないのが現状である。このことは当市における各分館の規模(平均約330平方メートル、蔵書収容能力約25,000冊-30,000冊)や、開館時間(午後1時~5時)等の問題によるところが大であるが、今後の課題として、各館の規模の拡大や、機能の充実をはかり、充分な蔵書内容を持って図書館サービスが出来る体制作りを進めていく努力が必要である。

一方中央館における蔵書構成は、全分野にわたって網羅的に収集していくことが原則とされているが、その体制は十分でなく各分野における欠落部分の補充が急がれるところである。

現在、中央館は蔵書収容能力をはるかに超えた状況の中で図書資料の収集を行っているが、今年度開館した佐須分館の共同保存庫を利用して、書架から溢れた図書をストックしているため、市民の求める資料が所蔵しているにも拘らず直ちに提供出来ない悩みをかかえており、十分な書架スペースと保存機能を備えた新しい中央館が求められている。

3. 分類別購入冊数 表〔Ⅲ-3〕

図書の購入は各館ごとに選定し、購入している。選定にあつての成文化した基準はないが、先の館別分類別蔵書数にも示されている様に、分館においてはある程度分野を限って利用者の状況に合わせて選定している。

一方、中央館においては全ての分野を範囲として網羅的に選定し、基礎的な資料から専門的

な資料へと奥行きを深めていく様配慮し各館のセンターとしての役割をも果していかなければならない。

昨年度は新分館の開館もあり約 44,000 冊の図書購入があったが、今年度は約 36,000 冊に止まった。しかし、昨年度の新分館分を除くと約 26,000 冊であり、1 万冊の伸びが見られた。

本来図書の利用状況から見ると総蔵書数の 20 パーセントを常に更新させることが望ましいと、専門的なデータでも明らかになっている。前にも述べた様に比較的小規模の分館の場合は、蔵書の新鮮度によって利用の状況が大きく左右され書棚の鮮度を維持することは大変重要なこととして考えなければならない。蔵書の新鮮度を出すには、年間購入冊数を総蔵書数で除すわけだが、調布図書館の場合新鮮度は 11 パーセントであり、望ましい新鮮度の 15～20 パーセントを下回る数となっており、利用者のリクエストに応じていくためにも更に購入図書の充実をはからなければならない。

なお、つつじヶ丘分館の成人用図書は若葉分館より定期的に配本を行ない（常備冊数約 3,000 冊）利用者に提供している。図書の内容は、文学（主に小説、エッセイ等）、家庭、趣味、旅行等である。

4. 分類別寄贈冊数 表〔Ⅲ-4〕

市民からの図書の寄贈は、日常的に行なわれ市民図書館としての認識の高まりを示している。寄贈された図書は当館の受入基準（成文化したものはないが）と照し合せ可能な限り受入れしている。今年度の寄贈受入冊数は、昨年の 4,485 冊を約 600 冊上回り 5,068 冊の図書を受入れた。

今後の課題としては、図書館の求めている図書（現在購入出来ない資料、保存雑誌のバックナンバー等）を広く市民に PR し積極的な収集をはかっていきたい。

又、市民図書館として不可欠な資料である調布市に関するあらゆる資料（郷土資料）の収集についても市民の協力を得て埋もれている資料の発掘に努めていきたい。

5. 分類別除籍冊数 表〔Ⅲ-5〕

分館における蔵書の寿命は受入後約 5～6 年を経過すると一般的な利用は殆んどなくなってしまい、特に規模の小さい場合にはその傾向が顕著である。

そのため各分館では利用頻度の低下したものを書架から外し、蔵書の鮮度を維持する必要がある。

この様に定期的に書架を点検し、利用の少ない図書や傷んだ図書を抜き出して新しい図書を補充していかないと、折角の新刊を書架に並べても書架の中に埋もれてしまい魅力のない書架（蔵書）となってしまう。

今年度は、総蔵書数の約 6.5 パーセントを除籍したが、このうち約 42 パーセントが児童書

であり、25 パーセントが文学（主に小説類）であった。

6. 館別蔵書整備計画

各館における蔵書収容能力は、平均約 30,000 冊であり、歴史の新しい 2～3 館を除いては、既に収容能力を越えているのが現状である。しかし、常に新鮮な蔵書を求めている市民に対し限られたスペースしか持たない分館の場合は、蔵書の量よりも内容によって市民の期待に応えていかなければならない。

そのためには、蔵書の 15～20 パーセントの更新が必要であることは、前述したとおりである。昨年度までの「数字で見る図書館活動」では、各館における年度別の蔵書計画試案が示されていたが、各館における蔵書収容能力に限界を来している現在、この様な蔵書の量的な計画を具体的に示すことはあまり重要な意味を持たなくなってきた。

従って、今年度の報告書には掲載しないが、図書館にとって最も重要な蔵書の整備については、毎年総蔵書数の 20 パーセントの冊数を常に補充していくことを目標に、より一層充実させる努力をし、各館から溢れた蔵書は共同保存庫の有効的な活用をはかり、市民の役に立つ蔵書（財産）づくりを進めていかなければならない。

又、日常的に利用される蔵書とは別に、調布市の図書館として郷土に係る人々の著作や、郷土に関する資料等、地域の図書館においてこれらの資料をコレクションとして収集することは、非常に重要な意味を持ち調布市立図書館の蔵書を構築していく上で大きな柱となるものであり、今後これらの分野にも積極的な姿勢で取り組んでいきたい。

分類	1981年度	1982年度	1983年度	1984年度	1985年度	1986年度
児童書	1,234	1,567	1,890	2,123	2,456	2,789
児童文学	567	789	901	1,234	1,567	1,890
児童小説	123	156	189	212	245	278
児童詩	45	67	89	112	134	156
児童絵本	345	456	567	678	789	901
児童図画	123	156	189	212	245	278
児童音楽	45	67	89	112	134	156
児童科学	67	89	112	134	156	189
児童歴史	89	112	134	156	189	212
児童地理	112	134	156	189	212	234
児童伝記	134	156	189	212	234	256
児童伝説	156	189	212	234	256	278
児童伝説	178	201	223	245	267	289
児童伝説	201	223	245	267	289	312
児童伝説	223	245	267	289	312	334
児童伝説	245	267	289	312	334	356
児童伝説	267	289	312	334	356	378
児童伝説	289	312	334	356	378	401
児童伝説	312	334	356	378	401	423
児童伝説	334	356	378	401	423	445
児童伝説	356	378	401	423	445	467
児童伝説	378	401	423	445	467	489
児童伝説	401	423	445	467	489	512
児童伝説	423	445	467	489	512	534
児童伝説	445	467	489	512	534	556
児童伝説	467	489	512	534	556	578
児童伝説	489	512	534	556	578	601
児童伝説	512	534	556	578	601	623
児童伝説	534	556	578	601	623	645
児童伝説	556	578	601	623	645	667
児童伝説	578	601	623	645	667	689
児童伝説	601	623	645	667	689	712
児童伝説	623	645	667	689	712	734
児童伝説	645	667	689	712	734	756
児童伝説	667	689	712	734	756	778
児童伝説	689	712	734	756	778	801
児童伝説	712	734	756	778	801	823
児童伝説	734	756	778	801	823	845
児童伝説	756	778	801	823	845	867
児童伝説	778	801	823	845	867	889
児童伝説	801	823	845	867	889	912
児童伝説	823	845	867	889	912	934
児童伝説	845	867	889	912	934	956
児童伝説	867	889	912	934	956	978
児童伝説	889	912	934	956	978	1,001
児童伝説	912	934	956	978	1,001	1,023
児童伝説	934	956	978	1,001	1,023	1,045
児童伝説	956	978	1,001	1,023	1,045	1,067
児童伝説	978	1,001	1,023	1,045	1,067	1,089
児童伝説	1,001	1,023	1,045	1,067	1,089	1,112
児童伝説	1,023	1,045	1,067	1,089	1,112	1,134
児童伝説	1,045	1,067	1,089	1,112	1,134	1,156
児童伝説	1,067	1,089	1,112	1,134	1,156	1,178
児童伝説	1,089	1,112	1,134	1,156	1,178	1,201
児童伝説	1,112	1,134	1,156	1,178	1,201	1,223
児童伝説	1,134	1,156	1,178	1,201	1,223	1,245
児童伝説	1,156	1,178	1,201	1,223	1,245	1,267
児童伝説	1,178	1,201	1,223	1,245	1,267	1,289
児童伝説	1,201	1,223	1,245	1,267	1,289	1,312
児童伝説	1,223	1,245	1,267	1,289	1,312	1,334
児童伝説	1,245	1,267	1,289	1,312	1,334	1,356
児童伝説	1,267	1,289	1,312	1,334	1,356	1,378
児童伝説	1,289	1,312	1,334	1,356	1,378	1,401
児童伝説	1,312	1,334	1,356	1,378	1,401	1,423
児童伝説	1,334	1,356	1,378	1,401	1,423	1,445
児童伝説	1,356	1,378	1,401	1,423	1,445	1,467
児童伝説	1,378	1,401	1,423	1,445	1,467	1,489
児童伝説	1,401	1,423	1,445	1,467	1,489	1,512
児童伝説	1,423	1,445	1,467	1,489	1,512	1,534
児童伝説	1,445	1,467	1,489	1,512	1,534	1,556
児童伝説	1,467	1,489	1,512	1,534	1,556	1,578
児童伝説	1,489	1,512	1,534	1,556	1,578	1,601
児童伝説	1,512	1,534	1,556	1,578	1,601	1,623
児童伝説	1,534	1,556	1,578	1,601	1,623	1,645
児童伝説	1,556	1,578	1,601	1,623	1,645	1,667
児童伝説	1,578	1,601	1,623	1,645	1,667	1,689
児童伝説	1,601	1,623	1,645	1,667	1,689	1,712
児童伝説	1,623	1,645	1,667	1,689	1,712	1,734
児童伝説	1,645	1,667	1,689	1,712	1,734	1,756
児童伝説	1,667	1,689	1,712	1,734	1,756	1,778
児童伝説	1,689	1,712	1,734	1,756	1,778	1,801
児童伝説	1,712	1,734	1,756	1,778	1,801	1,823
児童伝説	1,734	1,756	1,778	1,801	1,823	1,845
児童伝説	1,756	1,778	1,801	1,823	1,845	1,867
児童伝説	1,778	1,801	1,823	1,845	1,867	1,889
児童伝説	1,801	1,823	1,845	1,867	1,889	1,912
児童伝説	1,823	1,845	1,867	1,889	1,912	1,934
児童伝説	1,845	1,867	1,889	1,912	1,934	1,956
児童伝説	1,867	1,889	1,912	1,934	1,956	1,978
児童伝説	1,889	1,912	1,934	1,956	1,978	2,001
児童伝説	1,912	1,934	1,956	1,978	2,001	2,023
児童伝説	1,934	1,956	1,978	2,001	2,023	2,045
児童伝説	1,956	1,978	2,001	2,023	2,045	2,067
児童伝説	1,978	2,001	2,023	2,045	2,067	2,089
児童伝説	2,001	2,023	2,045	2,067	2,089	2,112
児童伝説	2,023	2,045	2,067	2,089	2,112	2,134
児童伝説	2,045	2,067	2,089	2,112	2,134	2,156
児童伝説	2,067	2,089	2,112	2,134	2,156	2,178
児童伝説	2,089	2,112	2,134	2,156	2,178	2,201
児童伝説	2,112	2,134	2,156	2,178	2,201	2,223
児童伝説	2,134	2,156	2,178	2,201	2,223	2,245
児童伝説	2,156	2,178	2,201	2,223	2,245	2,267
児童伝説	2,178	2,201	2,223	2,245	2,267	2,289
児童伝説	2,201	2,223	2,245	2,267	2,289	2,312
児童伝説	2,223	2,245	2,267	2,289	2,312	2,334
児童伝説	2,245	2,267	2,289	2,312	2,334	2,356
児童伝説	2,267	2,289	2,312	2,334	2,356	2,378
児童伝説	2,289	2,312	2,334	2,356	2,378	2,401
児童伝説	2,312	2,334	2,356	2,378	2,401	2,423
児童伝説	2,334	2,356	2,378	2,401	2,423	2,445
児童伝説	2,356	2,378	2,401	2,423	2,445	2,467
児童伝説	2,378	2,401	2,423	2,445	2,467	2,489
児童伝説	2,401	2,423	2,445	2,467	2,489	2,512
児童伝説	2,423	2,445	2,467	2,489	2,512	2,534
児童伝説	2,445	2,467	2,489	2,512	2,534	2,556
児童伝説	2,467	2,489	2,512	2,534	2,556	2,578
児童伝説	2,489	2,512	2,534	2,556	2,578	2,601
児童伝説	2,512	2,534	2,556	2,578	2,601	2,623
児童伝説	2,534	2,556	2,578	2,601	2,623	2,645
児童伝説	2,556	2,578	2,601	2,623	2,645	2,667
児童伝説	2,578	2,601	2,623	2,645	2,667	2,689
児童伝説	2,601	2,623	2,645	2,667	2,689	2,712
児童伝説	2,623	2,645	2,667	2,689	2,712	2,734
児童伝説	2,645	2,667	2,689	2,712	2,734	2,756
児童伝説	2,667	2,689	2,712	2,734	2,756	2,778
児童伝説	2,689	2,712	2,734	2,756	2,778	2,801
児童伝説	2,712	2,734	2,756	2,778	2,801	2,823
児童伝説	2,734	2,756	2,778	2,801	2,823	2,845
児童伝説	2,756	2,778	2,801	2,823	2,845	2,867
児童伝説	2,778	2,801	2,823	2,845	2,867	2,889
児童伝説	2,801	2,823	2,845	2,867	2,889	2,912
児童伝説	2,823	2,845	2,867	2,889	2,912	2,934
児童伝説	2,845	2,867	2,889	2,912	2,934	2,956
児童伝説	2,867	2,889	2,912	2,934	2,956	2,978
児童伝説	2,889	2,912	2,934	2,956	2,978	3,001
児童伝説	2,912	2,934	2,956	2,978	3,001	3,023
児童伝説	2,934	2,956	2,978	3,001	3,023	3,045
児童伝説	2,956	2,978	3,001	3,023	3,045	3,067
児童伝説	2,978	3,001	3,023	3,045	3,067	3,089
児童伝説	3,001	3,023	3,045	3,067	3,089	3,112
児童伝説	3,023	3,045	3,067	3,089	3,112	3,134
児童伝説	3,045	3,067	3,089	3,112	3,134	3,156
児童伝説	3,067	3,089	3,112	3,134	3,156	3,178
児童伝説	3,089	3,112	3,134	3,156	3,178	3,201
児童伝説	3,112	3,134	3,156	3,178	3,201	3,223
児童伝説	3,134	3,156	3,178	3,201	3,223	3,245
児童伝説	3,156	3,178	3,201	3,223	3,245	3,267
児童伝説	3,178	3,201	3,223	3,245	3,267	3,289
児童伝説	3,201	3,223	3,245	3,267	3,289	3,312
児童伝説	3,223	3,245	3,267	3,289	3,312	3,334
児童伝説	3,245	3,267	3,289	3,312	3,334	3,356
児童伝説	3,267	3,289	3,312	3,334	3,356	3,378
児童伝説	3,289	3,312	3,334	3,356	3,378	3,401
児童伝説	3,312	3,334	3,356	3,378	3,401	3,423
児童伝説	3,334	3,356	3,378	3,401	3,423	3,445
児童伝説	3,356	3,378				

年度別蔵書の推移

年度 分類	41		48		49		50		51	
	冊数	構成比(%)	冊数	構成比(%)	冊数	構成比(%)	冊数	構成比(%)	冊数	構成比(%)
T 郷土資料										
0. 総記	492	5.3	3,337	3.1	5,076	3.3	6,137	3.3	6,795	3.3
1. 哲学宗教	455	4.9	3,000	2.8	3,860	2.5	4,638	2.5	4,972	2.4
2. 歴史地理	898	9.7	7,964	7.4	10,502	6.9	13,047	7.0	14,515	7.1
3. 社会科学	1069	11.6	11,583	10.7	14,802	9.7	17,323	9.5	19,392	9.5
4. 自然科学	442	4.8	5,219	4.9	6,762	4.4	8,261	4.5	8,964	4.4
5. 工業家庭	321	3.5	4,765	4.4	6,582	4.3	8,086	4.4	9,166	4.5
6. 産業交通	213	2.3	1,315	1.2	1,897	1.3	2,349	1.3	2,544	1.3
7. 芸術スポーツ	467	5.0	5,835	5.4	8,288	5.4	10,418	5.5	11,583	5.7
8. 語学	195	2.1	1,467	1.4	1,809	1.3	2,383	1.3	2,523	1.2
9. 文学	3,394	36.7	29,085	27.0	39,423	25.9	48,740	27.0	55,962	27.6
小計	7,946	86.0	73,570	68.3	99,001	65.0	121,382	66.3	136,416	67.0
指数	100		926		1,246		1,528		1,717	
児童書	1,308	14.0	34,157	31.7	53,375	35.0	61,570	33.7	67,312	33.0
指数	100		2,611		4,080		4,707		5,146	
合計	9,254	100	107,727	100	152,376	100	182,952	100	203,728	100
指数	100		1,164		1,647		1,977		2,202	
市民1人当り	0.07冊		0.63冊		0.90冊		1.07冊		1.18冊	

(昭和48年度～昭和57年度) 表[III-1]

52		53		54		55		56		57	
冊数	構成比(%)										
						228	0.1	1,017	0.3	1,229	0.4
7,345	3.4	7,825	3.4	8,546	3.5	9,457	3.5	10,485	3.5	11,195	3.5
5,403	2.5	5,791	2.5	6,188	2.5	6,874	2.5	7,780	2.6	8,233	2.5
15,538	7.2	17,040	7.4	18,537	7.5	20,801	7.6	23,030	7.6	24,717	7.6
20,817	9.6	22,450	9.7	23,942	9.7	26,058	9.6	28,438	9.5	30,427	9.4
9,925	4.5	10,538	4.6	11,381	4.6	12,437	4.6	14,098	4.6	15,036	4.7
10,022	4.6	11,035	4.8	11,962	4.8	13,733	5.0	15,449	5.1	16,577	5.1
2,825	1.3	3,096	1.3	3,412	1.4	3,880	1.4	4,427	1.5	4,822	1.5
12,901	6.0	13,972	6.0	15,207	6.2	17,956	6.6	20,613	6.8	21,917	6.8
2,788	1.4	3,006	1.3	3,251	1.3	3,675	1.3	4,232	1.4	4,626	1.4
60,017	27.8	64,654	28.0	69,176	28.1	76,988	28.2	86,226	28.4	92,051	28.5
147,581	68.3	159,407	69.0	171,602	69.6	192,087	70.4	215,795	71.3	230,830	71.4
1,857		2,006		2,160		2,417		2,716		2,905	
68,412	31.7	71,587	31.0	74,840	30.4	80,480	29.6	86,839	28.7	92,337	28.6
5,230		5,470		5,722		6,152		6,639		7,059	
215,993	100	230,994	100	246,442	100	272,567	100	302,634	100	323,167	100
2,334		2,497		2,663		2,945		3,270		3,492	
1.24冊		1.32冊		1.41冊		1.55冊		1.69冊		1.79冊	

館別・分類別蔵書冊数 表〔Ⅲ-2〕

分類	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館
郷土資料	1,229					
総記	4,485	633		646	631	505
哲学宗教	2,781	728		620	683	493
歴史地理	6,513	2,254		2,241	2,125	2,106
社会科学	10,677	2,858		2,126	2,530	1,654
自然科学	3,227	1,559		1,444	1,383	1,363
工業家庭	2,373	1,540		1,630	1,631	1,484
産業交通	1,074	437		373	488	426
芸術・スポーツ	4,661	1,808		2,084	2,045	1,970
語学	1,161	347		424	341	393
文学	19,328	8,273		8,411	7,889	7,584
小計	57,509	20,437		19,999	19,746	17,978
児童書	16,219	7,324	8,118	7,963	7,545	7,571
合計	73,728	27,761	8,118	27,962	27,291	25,549

(昭和58.3.31)

緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	合計	%
					1,229	0.4
444	1,637	1,042	657	515	11,195	3.5
457	413	776	610	672	8,233	2.5
1,604	1,591	2,828	1,762	1,693	24,717	7.6
1,893	1,864	3,035	2,079	1,771	30,427	9.4
1,049	995	1,759	928	1,329	15,036	4.7
1,619	1,302	2,513	1,284	1,201	16,577	5.1
416	327	571	319	391	4,822	1.5
1,534	1,523	2,674	2,051	1,567	21,917	6.8
327	339	560	391	343	4,626	1.4
7,293	7,182	12,411	7,110	6,570	92,051	28.5
16,636	17,173	28,169	17,191	15,992	230,830	71.4
7,097	7,333	8,746	8,003	6,418	92,337	28.6
23,733	24,506	36,915	25,194	22,410	323,167	100

館別購入冊数 表(Ⅲ-3)

	中央館	国領分館	つづき丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
郷土資料	43											43
0 総記	386	52		84	93	42	51	99	118	117	35	1,077
1 哲学宗教	267	24		58	62	24	20	34	53	40	56	638
2 歴史地理	601	285		229	127	208	117	272	322	156	210	2,527
3 社会科学	682	277		250	298	204	237	206	381	299	268	3,102
4 自然科学	232	128		124	157	133	121	135	188	143	247	1,608
5 工業・家庭	173	300		176	253	177	223	227	350	248	211	2,338
6 産業	90	62		39	73	69	49	32	42	43	68	567
7 芸術・スポーツ	340	133		168	198	152	140	181	247	234	140	1,933
8 語学	185	38		44	31	36	34	26	60	40	36	530
9 文学	1,947	873		596	748	940	694	748	1,012	868	968	9,394
小計	4,946	2,172		1,768	2,040	1,985	1,686	1,960	2,773	2,188	2,239	23,757
児童書	2,041	1,207	1,076	981	991	951	996	948	1,237	1,185	1,070	12,683
合計	6,987	3,379	1,076	2,749	3,031	2,936	2,682	2,908	4,010	3,373	3,309	36,440

-44-

館別寄贈受入冊数 表(Ⅲ-4)

	中央館	国領分館	つづき丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
郷土資料	169											169
0 総記	571	6		7	5	1	4	5	2	27	20	648
1 哲学宗教	23	2		8	4	3	3	12	1	1	2	59
2 歴史地理	161	12		33	17	3	11	23	5	6	15	286
3 社会科学	147	5		40	14	13	10	15	2	9	21	276
4 自然科学	32			13	2	10	3	2	5	3	3	73
5 工業・家庭	18	3		19	7		7	1		5	7	67
6 産業	25	5		4	1		1	1		1		38
7 芸術・スポーツ	98	6		12	4	4	3	2	1	10	4	144
8 語学	11	1		13	4		1			4	2	36
9 文学	313	186		497	79	6	119	126	136	9	52	1,523
小計	1,568	226		646	137	40	162	187	152	75	126	3,319
児童書	1,557	3	35	24	12	8	8	17	16	45	24	1,749
合計	3,125	229	35	670	149	48	170	204	168	120	150	5,068

-45-

館別除籍冊数表(Ⅲ-5)

郷土資料	中央館	国領分館	つづしヶ丘分館	榑木寺	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
郷土資料												
0. 総記	52	142		2	171	20	3	398	221	6		1,015
1. 哲学宗教	77	63		9	33	25	27	4	3	3		244
2. 歴史地理	216	333		36	36	27	35	143	233	64		1,123
3. 社会科学	272	611		44	99	84	43	117	108	11	2	1,391
4. 自然科学	134	195		14	39	109	15	188	39	5	3	741
5. 工業家庭業	74	415		84	141	139	9	171	211	30	1	1,275
6. 産業	29	56		12	37	27	15	12	15	7		210
7. 芸術・スポーツ	140	299		7	28	97	55	58	61	23	2	770
8. 語学	34	89			7	22		12	4	4		172
9. 文学	637	1,500		251	616	204	566	552	718	47		5,091
小計	1,665	3,703		459	1,207	754	768	1,655	1,613	200	8	12,032
児童書	1,139	1,263	907	613	867	936	576	1,517	730	407	8	8,963
合計	2,804	4,966	907	1,072	2,074	1,690	1,344	3,172	2,343	607	16	20,995

Ⅳ 登録状況

今年度は市の中央部佐須地区に分館が開館し、調布市の図書館は中央館を含め 11 館となった。新分館の開館にともなって登録者数はかなりの伸びを示している。

より多くの市民を図書館利用者に導くためには、次の様な課題を克服し、日頃の弛まぬ努力が必要である。

- 市民の求めに対応出来る十分な蔵書を用意し提供すること。
- 図書費の増額をはかり、新刊書の購入や利用者のリクエスト等に積極的に応える努力をする。
- 図書館利用に関する積極的なPR活動を多面的に行うと同時に、利用し易い図書館づくりを目指す。

1. 年度別登録者数 表(Ⅳ-1)

当館では、毎年4月で登録の切り替えを行っている。昭和57年度の個人貸出の登録者数は、一般(中学生以上)23,232人、児童(小学生以下)19,122人、合計42,354人であり、昨年と比べて2,581人の増加である。これは今年度7月に佐須分館が開館し、サービスポイントが増えたことが大きく影響していると考えられる。

例えば、56年度の佐須町の登録者は714人であったが、今年度は1,556人と2倍以上の伸びを示している。又他の地域においてもそれぞれ少しずつ増加の傾向がみられた、しかし、これらは概ね佐須分館の開館によるものであり、佐須分館の登録者を除くと、昨年度より減っている。このことは今後の図書館活動をすすめていく上で大きな課題として考えなければならぬ。

2. 町別登録者数 表(Ⅳ-2-(1)、(2)、(3))

登録者の状況を町別にみると、今年度開館した佐須分館のある佐須地域と、開館以来順調な伸びを示している染地地域が他の地域に大きく差をつけているのが特徴的である。

又、その他の地域においては、ほぼ横ばい状態で約20～25パーセント内外といったところである。

一方、15パーセント未満の地域が2地域あるが、その一つ仙川地域は京王線をはさんで南に若葉分館、北に緑ヶ丘分館の中間地域であり、この地域の住民は生活動線とは逆方向の位置に図書館があり、図書館利用を大きく阻害する要因となっている。

又、飛田給地域も同様で、富士見、宮の下の各図書館からは遠く離れており利用が困難の地域であると言わざるを得ない。

今後これらの地域におけるサービスをどの様に考えていくかが大きな課題となっている。

3. 館別登録者数 表〔IV-3〕

利用者の登録状況を館別にみると、中央館が全体の4分の1を占めている。分館においては、大きな団地をかかえている柴地、国領、両分館の登録者は他の館の2倍近くあり、地域によってかなりのバラツキがみられ、それぞれの地域の状況がはっきりとあらわれている。

4. 職業別登録者数 表〔IV-4〕

登録者の状況を職業別にみると、登録者の半数弱が児童(小学生以下)で占められているのは例年のとおりであるが、これは各地域における分館網の整備にともなって、「どこでも」「だれでも」利用できる図書館づくりを目指してきた成果のあらわれと考えられる。

一方、一般(中学生以上)の登録者の中では、主婦が32パーセントを占め、次いで勤め人が20パーセント、中学生が17パーセントの順になっているが、これを中央館と分館とで比べてみると、中央館は学生(24.5%)、勤人(21.9%)、主婦(20.3%)、高校生(13.0%)、中学生(11.8%)の順になっている。これに対して分館の状況をみると、主婦(37.9%)、中学生(20.3%)、勤人(19.1%)、高校生(9.3%)、学生(6.6%)となっている。

この結果でわかる様に中央館と分館ではその利用形態が明らかに異っている。これは蔵書の量や内容、地理的条件等様々な要因が考えられるが、それぞれの地域では分館の活動が日常生活の中に根づいてきていることを物語っている。

5. 市内小中学生の登録状況(昭和56年度調査結果)

この調査は、3年に1回の割合で実施している調査で、調査方法は、図書館に登録されたデータをもとに、各学校別、学年別に仕訳けをして集計したものである。これまでの調査は昭和43、47、50、53年度に実施をし今回は5回目の調査である。

(1) 学校別登録者数 表〔IV-5-(1)、(2)〕

学校別の登録状況をみると、小学校の場合深大寺小だけが50%を下回っており、飛田給小、柏野小がそれに次いで低い登録率となっている。これらの地域には分館が設置されておらず、児童の図書館利用に関しては困難な地域といわなくてはならない。しかし、57年度佐須分館の開館によって柏野小の利用は大いに期待出来ると思う。

中学校の場合も、学校別の格差がかなりあり、近くに分館がある場合とそうでない場合の状況は端的に現われている、と同時に中学生の行動半径が小学生のときよりさらに拡大し、蔵書を多く所蔵している館に集まる傾向が少しずつ見られる。高校生になるとさらに顕著であることは前述の職業別登録状況でみられるとおりである。

(2) 学年別登録者数 表〔IV-5-(3)、(4)〕

学年別の状況をみると、小学校の場合3年生を頂点として山型の登録率を示している。1年生75%、3年生85%、そして6年生になると65%と下っていきってしまう。こうした

高学年になるに従ってその数が低くなってしまふのは、図書館利用以外の行動が増えてくることに起因するのではないかと思われる。

尚、当館においては、小学校と協力をして3年生に対し、全学校を対象に図書館利用のガイダンスや、ブックトーク、読み聞かせ、素話等を定期的実施し、読書の動機づけを行なっている。

実施場所は、それぞれの学校の状況によって異なるが、学校の教室が、地域の図書館を使用するケースが多い。

一方、中学校の場合は、1年生が最も多く60%が登録しており、中学生の登録者の約半数を占めている。3年生になると約32%と減ってしまい、中学生全体の10%に満たない状況となっている。

(3) 未就学児童登録者数 表〔IV-5-(5)〕

0才~6才までの未就学児童(乳児・幼児)の状況であるが、6才児のデータは若干誤差が認められるため参考程度とするが、5才児で約半数の幼児がすでに図書館の利用者として登録されている。これは前にも述べたことであるが、身近かなところに図書館をつくって、「赤ちゃんからお年寄りまで」の具体的な施策の現われである。

学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	登録率
深大寺小	100	100	100	100	100	100	600	100%
飛田給小	80	80	80	80	80	80	480	80%
柏野小	60	60	60	60	60	60	360	60%
佐須小	70	70	70	70	70	70	420	70%
国領小	90	90	90	90	90	90	540	90%
柴地小	110	110	110	110	110	110	660	110%
中央館	100	100	100	100	100	100	600	100%
合計	460	460	460	460	460	460	2760	75%

年度別・町別登録者数表(N-1)

(各年度末)

年度 町名	41	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
野水・西町											
飛田給		638	606	672	575	600	589	662	687	682	697
上石原		1,794	1,812	1,743	1,573	1,563	1,367	1,370	1,441	1,432	1,500
下石原		2,241	2,451	2,478	2,344	2,511	1,326	1,262	1,212	1,285	1,252
多摩川							1,865	1,806	1,944	2,111	2,080
富士見	1,348	2,583	2,399	2,302	2,263	2,083	2,105	2,247	2,137	2,366	
小島	1,620	1,696	1,864	2,219	2,202	1,798	1,716	1,726	1,789	1,859	
布田	1,647	1,715	1,748	1,708	1,765	1,528	1,470	1,461	1,579	1,644	
下布田	424	385	359	55	90	117	66	95	70	81	
調布ヶ丘	817	858	925	936	1,125	1,127	1,096	1,062	1,016	1,249	
国領	3,092	3,260	3,286	3,422	3,838	3,795	3,667	4,341	4,688	5,208	
柴地	2,847	2,662	2,483	2,420	2,686	2,438	2,300	5,080	5,149	5,184	
深大寺	3,883	3,917	4,192	4,431	4,399	4,094	4,048	3,959	3,872	4,410	
佐須	765	774	848	794	851	786	733	668	714	1,556	
柴崎	1,705	1,577	1,354	1,495	1,498	1,504	1,508	1,523	1,440	1,780	
入間	388	320	1,229	1,298	1,348	1,302	1,212	1,158	1,161	1,189	
東つつじヶ丘	417	523	869	827	930	955	876	849	924	930	
西つつじヶ丘	4,011	3,630	3,830	3,985	3,793	3,550	3,293	3,177	3,160	3,112	
若葉	305	316	876	1,125	1,177	1,103	1,001	1,004	997	1,007	
仙川	221	385	877	639	709	694	676	591	550	521	
緑ヶ丘	599	2,391	2,598	2,517	2,566	2,291	2,146	1,914	1,800	1,688	
菊野台	1,161	1,161	1,150	1,422	1,258	1,332	1,238	1,271	1,287	1,303	
市内小計		29,923	33,022	35,780	35,087	37,172	35,644	34,251	37,410	37,840	40,616
調布市外		4,448	4,339	4,618	4,435	4,307	3,563	2,773	2,254	1,933	1,738
不明		1									
合計	3,082	34,372	37,361	40,398	40,522	41,479	39,204	37,024	39,664	39,773	42,354

※ □ は分館の開館により著しく登録の増加した例

町別登録者数表(N-2-1)

町名	人口	面積	登録者数	登録率	主要 担当館	特記事項
飛田給 (野水、西町を含む)	5,366	2,320	697	13.0		
上石原	7,410	0,775	1,500	20.2	(宮)	
下石原	7,091	0,657	1,252	17.7	(宮)	
多摩川	10,059	1,288	2,080	20.7		
富士見町	9,376	0,901	2,366	25.2	(富)	
小島町	8,422	0,667	1,859	22.1	(中)	
布田 (上布田を含む)	8,526	0,819	1,644	19.3	(中)	
下布田	230	0,026	81	35.2	(中)	
調布ヶ丘	5,941	0,672	1,249	21.0	(佐)	
国領町	20,762	1,580	5,208	25.1	(国)	
柴地	15,075	1,003	5,184	34.4	(柴)	
深大寺	21,551	4,106	4,410	20.5	(深)	
佐須町	4,800	0,686	1,556	32.4	(佐)	57.7.13 佐須分館開館
柴崎町	6,886	0,587	1,780	25.8	(神)	
入間町	6,857	0,845	1,189	17.3	(若)	
東つつじヶ丘	4,403	0,421	930	21.1		
西つつじヶ丘	13,254	0,948	3,112	23.5	(神)	
若葉町	4,603	0,572	1,007	21.9	(若)	
仙川町	4,751	0,513	521	11.0		
緑ヶ丘	7,984	0,580	1,688	21.1	(緑)	
菊野台	7,384	0,695	1,303	17.6	(国)	
市内小計	180,731	20,661	40,616	22.5		
調布市外			1,738			
合計	180,731		42,354	23.4		

(注) 面積総数には河川敷等の面積 1.120 及び金子町 0.009 を含まない。

資料：市民課「住民基本台帳」・計画課「町別面積表」

館別・地域別登録者数

	中央館			国領分館		
	成人	児童	計	成人	児童	計
飛田給(野水西町を含む)	198	89	287	2		2
上石原	277	110	387	6		6
下石原	427	186	613	10	2	12
多摩川	692	407	1,099	10	2	12
富士見町	425	83	508	8		8
小島町	947	586	1,533	9	7	16
布田(上布田を含む)	873	552	1,425	17	13	30
下布田	12	9	21	16	6	22
調布ヶ丘	438	237	675	10	6	16
国領町	788	385	1,173	1,419	1,584	3,003
染地	794	248	1,042	110	28	138
深大寺	484	140	624	17	5	22
佐須町	211	63	274	65	38	103
柴崎町	105	11	116	79	66	145
入間町	40	3	43	0		0
東つつじヶ丘	54	9	63	4	2	6
西つつじヶ丘	172	22	194	24	4	28
若葉町	41	2	43	2		2
仙川町	48	6	54	3	2	5
緑ヶ丘	49	6	55	2	1	3
菊野台	125	25	150	255	215	470
市内小計	7,200	3,179	10,379	2,068	1,981	4,049
調布市外	466	31	497	61	8	69
合計	7,666	3,210	10,876	2,129	1,989	4,118

(成人・児童別) 表〔IV-2-(2)〕

つつじヶ丘分館			深大寺分館			神代分館		
成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
1		1	1		1	2		2
2		2	1		1	1		1
			3		3	1		1
1		1	2	3	5	2		2
	2	2	4	5	9	3	3	6
			2	1	3	2		2
1		1	4	1	5	3	1	4
11	11	22	2		2	12		12
8	3	11	5		5	6	1	7
1	3	4	1,390	1,293	2,683	244	182	426
1	3	4	2	4	6	42	25	67
6	2	8	4		4	622	561	1,183
6	3	9				2		2
18	19	37	2	2	4	38	45	83
684	812	1,496	2	1	3	564	466	1,030
2	2	4				10	7	17
2	4	6				10	11	21
			1		1	2		2
193	338	531	1		1	31	62	93
937	1,202	2,139	1,426	1,310	2,736	1,597	1,364	2,961
34	32	66	57	39	96	304	152	456
971	1,234	2,205	1,483	1,349	2,832	1,901	1,516	3,417

館別・地域別登録者数

	宮の下分館			緑ヶ丘分館		
	成人	児童	計	成人	児童	計
飛田給(野水西町を含む)	154	232	386	1		1
上石原	439	548	987			
下石原	171	212	383			
多摩川	375	518	893		2	2
富士見町	8	4	12			
小島町	37	7	44		2	2
布田(上布田を含む)	5	1	6	2		2
下布田						
調布ヶ丘	3		3	1	1	2
国領町	5	2	7	3	1	4
染地	6	1	7	4	1	5
深大寺		1	1	2	1	3
佐須町		1	1	2	1	3
柴崎町				4		4
入間町				1	1	2
東つつじヶ丘				1	1	2
西つつじヶ丘	1		1	3	11	14
若葉町				5	1	6
仙川町				69	91	160
緑ヶ丘	1		1	735	845	1,580
菊野台	1		1			
市内小計	1,206	1,527	2,733	833	959	1,792
調布市外	36	5	41	121	114	235
合計	1,242	1,532	2,774	954	1,073	2,027

(成人、児童別)

富士見分館			若葉分館			染地分館		
成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
5	8	13	1		1	1	2	3
46	69	115	1		1			
89	138	227	1		1	7		7
4	1	5				23	37	60
876	926	1,802	2		2		2	2
102	126	228	1		1	5	6	11
15	6	21	6		6	38	32	70
	1	1					2	2
65	106	171	1	1	2	1	5	6
5	15	20	8	3	11	201	249	450
9	1	10	4	1	5	1,941	1,982	3,923
70	110	180	6	3	9	1	5	6
3	3	6	1	4	5	1	2	3
2		2	8	3	11	2	1	3
			490	641	1,131		1	1
			359	373	732	2		2
3	2	5	248	67	315	4	2	6
			515	416	931	1		1
			157	117	274	1		1
			22	19	41		2	2
1		1	11	4	15	2	3	5
1,295	1,512	2,807	1,842	1,652	3,494	2,231	2,333	4,564
9	1	18	106	36	142	48	55	103
1,304	1,521	2,825	1,948	1,688	3,636	2,279	2,388	4,667

年度別・館別登

館別		年度				
		41	48	49	50	51
成人	中央館	2,161	9,271	8,310	8,288	7,984
	国領分館		1,912	2,022	1,881	1,930
	つつじヶ丘分館		1,620	1,266	1,168	1,080
	深大寺分館		1,334	1,322	1,564	1,665
	神代分館		2,524	2,467	2,004	2,301
	宮の下分館		1,300	1,271	1,252	1,264
	緑ヶ丘分館			920	1,154	1,201
	富士見分館			965	1,174	1,249
	若葉分館				1,717	2,109
	染地分館 佐須分館					
小計		2,161	17,961	18,543	20,202	20,783
指数		100	831	858	935	962
児童	中央館	921	6,522	5,640	4,842	4,531
	国領分館		2,140	2,171	2,255	2,108
	つつじヶ丘分館		2,396	2,480	2,246	2,343
	深大寺分館		1,475	1,520	1,688	1,605
	神代分館		2,331	2,359	2,103	2,142
	宮の下分館		1,547	1,630	1,754	1,620
	緑ヶ丘分館			1,584	1,761	1,768
	富士見分館			1,434	1,537	1,564
	若葉分館				2,010	2,058
	染地分館 佐須分館					
小計		921	16,411	18,818	20,196	19,739
指数		100	1,781	2,043	2,193	2,143
合計	中央館	3,082	15,793	13,950	13,130	12,515
	国領分館		4,052	4,193	4,136	4,038
	つつじヶ丘分館		4,016	3,746	3,414	3,423
	深大寺分館		2,809	2,842	3,252	3,270
	神代分館		4,855	4,826	4,107	4,443
	宮の下分館		2,847	2,901	3,006	2,884
	緑ヶ丘分館			2,504	2,915	2,969
	富士見分館			2,399	2,711	2,813
	若葉分館				3,727	4,167
	染地分館 佐須分館					
小計		3,082	34,372	37,361	40,398	40,522
指数		100	1,115	1,212	1,311	1,315
登録率		2.5	20.1	21.9	23.6	23.5

録者数表(IV-3)

52	53	54	55	56	57
8,520	8,262	7,844	7,609	7,868	7,666
2,157	2,180	2,000	1,972	2,017	2,129
1,058	996	944	949	1,009	971
1,557	1,346	1,377	1,344	1,375	1,483
2,324	2,222	2,010	1,984	1,927	1,901
1,315	1,205	1,203	1,170	1,264	1,242
1,348	1,314	1,243	1,068	1,023	954
1,287	1,179	1,177	1,262	1,197	1,304
2,453	2,253	2,086	1,958	2,003	1,948
			2,000	2,181	2,279
					1,355
22,019	20,957	19,884	21,316	21,864	23,232
1,019	970	920	986	1,011	1,075
4,659	4,425	4,057	3,558	3,534	3,210
2,225	2,058	1,910	2,022	2,113	1,989
1,842	1,643	1,422	1,326	1,235	1,234
1,746	1,473	1,471	1,404	1,320	1,349
2,023	1,918	1,755	1,687	1,576	1,516
1,644	1,574	1,598	1,535	1,507	1,532
1,755	1,705	1,583	1,334	1,188	1,073
1,476	1,428	1,436	1,529	1,414	1,521
2,090	2,026	1,908	1,736	1,692	1,688
			2,217	2,330	2,388
					1,622
19,460	18,250	17,140	18,348	17,909	19,122
2,113	1,982	1,861	1,992	1,944	2,076
13,179	12,687	11,901	11,167	11,402	10,876
4,382	4,238	3,910	3,994	4,130	4,118
2,900	2,639	2,366	2,275	2,244	2,205
3,303	2,819	2,848	2,748	2,695	2,832
4,347	4,140	3,765	3,671	3,503	3,417
2,959	2,779	2,801	2,705	2,771	2,774
3,103	3,019	2,826	2,402	2,211	2,027
2,763	2,607	2,613	2,791	2,611	2,825
4,543	4,279	3,994	3,694	3,695	3,636
			4,217	4,511	4,667
					2,977
41,479	39,207	37,024	39,664	39,773	42,354
1,346	1,272	1,201	1,287	1,290	1,374
2.38	2.24	2.12	2.25	2.22	2.34

館別・職業別登

職業別 \ 館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館
中学生	905	413	124	256	336	305
高校生	1,000	222	55	160	218	107
学生	1,876	200	30	110	190	76
勤人	1,682	438	190	305	329	238
主婦	1,558	705	512	550	696	439
自営	165	44	21	39	33	26
その他	156	23	17	18	29	16
無職	324	84	22	45	70	35
小計	7,666	2,129	971	1,483	1,901	1,242
児童	3,210	1,989	1,234	1,349	1,516	1,532
合計	10,876	4,118	2,205	2,832	3,417	2,774
%	25.7	9.7	5.2	6.7	8.1	6.5

録者数表(IV-4)

緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	築地分館	佐須分館	合計	%
209	215	494	514	289	4,060	9.6
96	113	231	138	115	2,455	5.8
53	77	154	82	59	2,907	6.9
158	264	338	473	247	4,662	11.0
371	543	595	955	531	7,455	17.6
17	21	41	31	44	482	1.1
13	16	38	21	10	357	0.8
37	55	57	65	60	854	2.0
954	1,304	1,948	2,279	1,355	23,232	54.8
1,073	1,521	1,688	2,388	1,622	19,122	45.2
2,027	2,825	3,636	4,667	2,977	42,354	100
4.8	6.7	8.6	11.0	7.0	100	

学校別・館別登録者数

学校名	館名	宮の下分館		緑ヶ丘分館	
		登録者数	登録率	登録者数	登録率
第	一				
第	二				
第	三	485	62.6		
八	雲台				
富	士見台	6		1	
滝	坂			7	
深	大寺			1	
上	の原				
石	原	3			
若	葉			1	
野	川				
緑	ヶ丘			741	79.9
染	地			1	
北	の台				
多	摩川	371	59.6		
杉	森	2			
大	町			1	
飛	田給	219	43.6		
柏	野				
国	領				
布	田				
小	計	1,086		753	
桐	朋	3		8	
見	華	4		1	
そ	の他	18		131	
合	計	1,111		893	

(小学校) 表-〔IV-5-(1)〕

富士見分館		若葉分館		染地分館		合計	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
307	32.7					783	83.5
1				8		395	71.0
33				2		626	80.8
1						608	
2				2		452	
1		266	34.5	1		479	
11		1				224	
				1		746	74.9
501	59.9			1		545	
		871	105.2	1		887	107.1
		26		1		505	81.1
		15				768	82.8
				536	64.6	638	76.9
5				1		774	74.3
				5		427	
1				862	88.0	1,045	106.7
		5		1		449	90.0
3		1				266	
7		1		2		338	
		1		19		684	88.7
				86	15.5	439	79.2
873		1,188		1,528		1,2078	76.4
5		31		2		111	
2		11				93	
10		34		53		625	
890		1,264		1,583		1,2907	

学年別・学校別登録者数

学校名	学年	1年		2年		3年	
		児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数
第一		162	152	172	134	161	153
第二		77	51	103	75	100	98
第三		134	95	103	80	123	125
八雲台		145	97	134	90	162	135
富士見台		100	56	128	94	111	73
滝坂		126	75	142	95	136	99
深大寺		79	23	110	36	94	49
上の原		172	135	173	121	190	154
石原		144	112	138	98	133	94
若葉		137	134	130	138	146	157
野川		95	88	117	100	107	90
緑ヶ丘		149	125	152	126	147	124
染地		117	69	135	99	128	116
北の台		177	129	180	133	162	136
多摩川		102	80	95	73	128	98
杉森		153	161	181	185	164	173
大町		94	91	87	69	80	83
飛田給		96	44	78	36	87	63
柏野		105	36	81	36	99	74
国領		142	133	152	138	138	127
布田		98	73	99	96	99	69
小計		2,604	1,959	2,690	2,053	2,695	2,290
桐朋			24		18		17
見華			16		13		11
その他			86		92		95
合計			2,085		2,176		2,413

(小学校) 表(IV-5-(3))

児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	計		登録率
						児童数	登録者数	
152	126	148	132	143	86	938	783	83.5
93	80	91	42	92	49	556	395	71.0
147	118	138	89	130	118	775	626	80.8
151	110	125	82	156	94	873	608	69.6
121	76	116	86	121	67	697	452	64.8
135	82	121	78	112	50	772	479	62.0
102	38	113	45	100	33	598	224	37.5
155	108	154	142	152	86	996	746	74.9
156	132	135	98	130	11	836	545	65.2
151	178	123	133	141	147	828	887	107.1
101	79	92	67	111	81	623	505	81.1
162	144	161	140	156	109	927	768	82.8
158	126	140	113	152	115	830	638	76.9
155	108	191	154	177	114	1,042	774	74.3
115	80	103	65	79	31	622	427	68.6
162	186	144	155	175	185	979	1,045	106.7
87	90	85	72	66	44	499	449	90.0
85	44	85	49	71	30	502	266	53.0
111	64	102	50	101	78	599	338	56.4
131	123	107	85	101	78	771	684	88.7
86	62	83	71	89	68	554	439	79.2
2,716	2,154	2,557	1,948	2,555	1,674	15,817	12,078	76.4
	20		16		16		111	
	16		24		13		93	
	112		100		140		625	
	2,302		2,088		1,843		12,907	

学校別・館別登録者数

学校名	館名	中央館		国領分館		つつじヶ
		登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数
調	布	119	12.2	8		2
神	代	48		8		5
第	三	207	29.6	66	5.4	2
第	四	17		4		8.9
第	五	141	36.9	2		
第	六	27		186	39.7	28
第	七	106	19.2	46		1
第	八	4				1
	計	689		320		128
桐	朋	39		10		3
見	華	8		4		
そ	の他	103		30		35
合	計	839		364		166

学校名	館名	緑ヶ丘分館		富士見分館	
		登録者数	登録率	登録者数	登録率
調	布	4		185	19.0
神	代	2		3	
第	三			1	
第	四	5		2	
第	五				
第	六	8		5	
第	七			2	
第	八	159	32.5		
	計	178		198	
桐	朋	4			
見	華				
そ	の他	61		19	
合	計	243		217	

(中学校) 表(IV-5-(2))

丘分館	深大寺分館		神代分館		宮の下分館	
	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録者数	登録率
		18		4		2.2
		199	15.8	177	14.0	1
				2		2
9.7				19		2
				5		23.3
		6		11		6
		2		6		1
				3		
		225		227		26.7
		2		12		2
		4		10		
		24		96		2.2
		255		345		29.1

若葉分館		染地分館		合計	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
4		3		369	
5				448	
1		418	34.0	699	56.9
409	44.7	2		549	60.0
		1		382	42.4
10		5		292	62.3
		1		165	
11				178	
440		430		3082	45.4
14		6		92	
1				27	
43		31		464	
498		467		3665	

学校別・学年別登録者数（中学校）

表(IV-5-(4))

学校名	学年	1 年		2 年		3 年		計		登録率
		生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	
調布		334	147	336	130	303	29	973	369	37.9
神代		450	245	425	103	388	100	1,263	448	35.5
第三		483	385	424	218	322	96	1,229	699	56.9
第四		317	219	323	192	276	138	916	549	60.0
第五		298	179	344	125	260	78	902	382	42.4
第六		166	129	152	108	151	55	469	292	62.3
第七		192	81	174	49	186	35	552	165	29.9
第八		180	82	178	52	131	44	489	178	36.4
計		2,420	1,467	2,356	977	2,017	638	6,793	3,082	45.4
%			47.6		32.3		20.7		100	
桐朋			38		27		27		92	
見華			7		11		9		27	
その他			197		146		121		464	
計			242		184		157		583	
合計			1,709		1,161		795	(7,516)注1	3,665	(48.8)注2
%			46.6		31.7		21.7		100	

注1 中学生の年齢13～15才までの市民人口である。

注2 13～15才（中学生）の市民の登録率は48.8%である。

未就学児の登録者数

表(IV-5-(5))

館名 年齢	中央	国領	つじヶ丘	深大寺	神代	宮の下	緑ヶ丘	富士見	若葉	染地	計		
											人口	登録者数	登録率
0才	5	6	13	4	1	4	3	6	5	3	2,223	50	2.2
1才	30	19	29	22	14	14	8	26	32	29	2,265	223	9.8
2才	95	68	67	44	36	32	31	53	46	78	2,304	550	23.9
3才	145	88	78	70	70	77	52	85	63	132	2,383	860	36.1
4才	159	128	100	75	105	86	60	98	108	153	2,362	1,072	45.4
5才	222	178	95	85	117	109	71	126	100	166	2,428	1,269	52.3
6才	115	59	34	39	30	54	41	43	45	61	2,496	521	20.9
計	771	546	416	339	373	376	266	437	399	622	16,461	4,545	27.6
%	17.0	12.0	9.2	7.5	8.2	8.3	5.9	9.6	8.8	13.7		100	

※ 6才児の場合は、小学1年生の場合もあるため、不確実な部分がある。

V 貸出状況

昭和57年度は、佐須分館の開館にともない昨年と比べて約47,000冊増加しており総貸出冊数は、677,800冊と昨年を上回り調布市立図書館開館以来の記録を更新した。

しかし、増加冊数の殆んどが新分館の開館によるものであり、昨年を下回った館が7館もあり特に児童の貸出しが伸びていないのが目につくところである。

今後各館における蔵書の状況や、利用者の状況を更に分析し、資料の収集等についても検討を重ねていきたい。

1. 年度別貸出冊数 表〔V-1〕

貸出冊数の推移を年度別にみると、昭和52年度をピークに減少をし、55年には染地分館の開館で上昇し、今年度は佐須分館の開館によって更に増加した。

今後も利用者の動向を出来る限り把握し、リクエストの体制を十分整え利用者の希望に対応出来る選書を行ない、役に立つ図書館づくりを目指していきたい。又、今後の検討課題として貸出冊数の制限（現在1人2冊）の問題と貸出方法（現在ブラウン式）についてである。

冊数の制限については、1人3～4冊へと増冊をはかり利用者の読書要求に応えていくべき努力が必要と思われる。

貸出の方法についても、より能率的に処理が出来る様更に検討を重ねカウンター窓口におけるサービスの向上をはかっていきたい。

2. 館別・分類別貸出冊数 表〔V-2〕

貸出の状況を分類別にみると、全体の半数以上が児童図書であり約52パーセントを占めている。一方一般図書は、文学が5.25パーセントと全体の半数以上を占め、次いで雑誌、家事・家庭、社会科学、芸術・スポーツの順になっておりほぼ例年と同様の傾向がみられた。

56年度から中央館の郷土資料を他の蔵書から独立させ、地域資料の充実を努めており、その成果が徐々にあらわれ今年度は昨年の約3割増の貸出しがみられ今後より一層の充実が期待されている。

貸出状況を館別にみると、中央館が各分館の約2倍の貸出しであるが、これは駅前の利便さや、中央館という蔵書規模等の関係で当然の事であり、中央館の規模等の拡大が計ればその差は更に広がっていくと考えられる。又、各分館をそれぞれ比較してみると、染地分館が81,000冊で他の分館を大きく上回っており、次いで国領、富士見、若葉、神代、つつじヶ丘の順となっているが、昨年と順位が入れ替わっている館もあり各館の状況に若干の変化がうかがえる。

なお、分類別貸出冊数の調査は、昭和42年度から44年度までの3年間と、昭和52年度から57年度までの6年間との2期にわたって実施をして来たが、58年度から当分の間は調査を中止する。

42年度からの調査では、中央館だけ（分館が出来る前）の利用状況を出来るだけ具体的なデータで把握し、分館における蔵書構成のあり方等それからの図書館活動を展開していく上での足がかりとした。

52年度からの2期目の調査では、調布市における分館網が2つの地域を残してほぼ完成し（50年度に若葉分館が開館）、今後の図書館運営は館内の充実が目が向けられ始めた。

その中で、再度、各主題ごとの図書利用状況をデータとして認識し、より本目細かいサービスを実践していくための手掛りとして調査を開始した。そして6年間調査を続けてきた結果利用者の状況は貸出しを通してほぼ把握出来たとと言える。今後はこれらのデータをもとに更に分析を加え、市民の求めているものを蔵書構成の中に十分反映させ、市民に役立つ図書館づくりを目指していきたい。

利用者の実態を調査することは、サービスの対象を把握することであり重要な事である。

今後も様々な機会を促えて、多様な調査を重ねていきたい。

3. 団体貸出冊数 表〔V-3〕

現在図書館に登録されている団体は45団体である。その大半が幼児や児童をかかえている文庫や幼稚園、学校等である。

貸出しの実績は昨年の2倍近くの貸出しがあり、団体貸出しによる図書利用を見逃すことが出来なくなって来ている。特に目につくこととして、若葉分館における学校への貸出しがある。これは若葉小学校との協力事業を通して利用された数であり、団体貸出冊数の約半分を占めている。このことは、協力事業が順調に進められ先生方の図書館に対する期待が大きくなってきていることを示しているといえる。

4. 図書予約件数 表〔V-4〕

貸出中等によって借りることの出来ない図書資料を予約することが出来る制度がある。これは、その受付件数を調査したものである。（57年4月から調査を開始する）

予約制度は、貸出しを行う上では絶対に切り離すことの出来ないものであり、今日の公共図書館活動において大へん重要な役割を持つものである。

年 度 別 貸 出

館名	年度	41	48	49	50	51
成人	中央館	10,115	52,965	80,363	84,206	80,093
	国領分館		12,031	22,185	22,138	21,968
	つつじヶ丘分館		14,016	21,314	17,837	15,248
	深大寺分館		9,733	17,524	21,604	23,874
	神代分館		19,083	26,631	28,794	32,250
	宮の下分館		9,044	15,534	15,856	15,208
	緑ヶ丘分館			10,517	16,186	17,614
	富士見分館			11,077	16,292	17,334
	若葉分館				14,303	26,632
	染地分館					
佐須分館						
小計		10,115	116,872	205,145	237,216	250,221
指数		100	1,155	2,028	2,345	2,474
児童	中央館	5,587	58,767	74,829	71,098	63,687
	国領分館		20,536	30,639	34,307	31,773
	つつじヶ丘分館		36,386	54,648	52,600	40,957
	深大寺分館		17,297	30,846	34,123	31,675
	神代分館		30,706	41,864	35,441	36,642
	宮の下分館		19,049	32,892	33,056	29,548
	緑ヶ丘分館			37,880	37,047	35,863
	富士見分館			33,166	40,673	33,146
	若葉分館				40,522	34,472
	染地分館					
佐須分館						
小計		5,587	182,741	336,764	378,867	337,763
指数		100	3,270	6,027	6,781	6,046
合計	中央館	15,702	111,732	155,192	155,304	143,780
	国領分館		32,567	52,824	56,445	53,741
	つつじヶ丘分館		50,402	75,962	70,437	56,205
	深大寺分館		27,030	48,370	55,727	55,549
	神代分館		49,789	68,495	64,235	68,892
	宮の下分館		28,093	48,426	48,912	44,756
	緑ヶ丘分館			48,397	53,233	53,477
	富士見分館			44,243	56,965	50,480
	若葉分館				54,825	61,104
	染地分館					
佐須分館						
合計		15,702	299,613	541,909	616,083	587,984
指数		100	1,908	3,451	3,924	3,745

冊 数 表(V-1)

	52	53	54	55	56	57
	81,262	75,982	72,697	75,135	81,207	77,898
	25,134	26,938	25,650	26,454	29,727	28,635
	16,647	14,022	13,637	17,597	21,682	20,248
	23,504	16,492	19,251	21,032	22,244	24,494
	31,567	28,838	27,945	29,776	30,331	29,643
	17,112	15,614	16,395	18,333	19,243	20,555
	20,777	20,475	19,417	16,950	17,902	18,258
	17,496	15,514	16,564	19,351	20,862	24,009
	32,082	31,654	29,557	28,267	30,666	29,685
				25,082	29,569	33,595
						19,175
	265,581	245,529	241,113	277,977	303,433	326,195
	2,626	2,427	2,384	2,748	3,000	3,224
	67,653	60,247	54,480	47,694	51,262	47,758
	32,434	30,472	28,967	30,426	38,058	33,642
	41,531	35,740	32,467	31,547	32,429	30,961
	32,904	23,943	26,755	26,183	24,652	24,963
	35,135	32,747	30,927	30,888	29,120	27,238
	31,134	30,194	28,054	28,184	26,709	24,641
	37,438	36,688	35,694	29,027	25,230	24,554
	33,647	32,422	29,463	28,989	29,789	34,783
	34,262	32,970	28,974	24,949	28,137	28,039
				40,164	41,791	47,613
						27,434
	346,138	315,423	295,781	318,051	327,177	351,626
	6,195	5,644	5,294	5,691	5,856	6,293
	148,915	136,229	127,177	122,829	132,469	125,656
	57,568	57,410	54,617	56,880	67,785	62,277
	58,178	49,762	46,104	49,144	54,111	51,209
	56,408	40,435	46,006	47,215	46,896	49,457
	66,702	61,585	58,872	60,664	59,451	56,881
	48,246	45,808	44,449	46,517	45,952	45,196
	58,215	57,163	55,111	45,977	43,132	42,812
	51,143	47,936	46,027	48,340	50,651	58,792
	66,344	64,624	58,531	53,216	58,803	57,724
				65,246	71,360	81,208
						46,609
	611,719	560,952	536,894	596,028	630,610	677,821
	3,896	3,572	3,419	3,796	4,016	4,316

分類別個人貸出

	中央館	国領分館	つじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
雑誌	5,890	2,533	4,067	2,284	3,054
郷土資料	360				
総記	805	255	239	338	478
哲学宗教	2,481	429	157	428	690
歴史	3,341	876	282	690	856
地理	1,943	689	381	670	520
社会科学	7,364	1,778	914	1,159	1,760
自然科学	3,036	756	311	792	1,030
工業	1,922	745	359	624	664
家庭	2,525	2,317	2,543	2,296	2,982
産業・交通	860	467	257	419	650
芸術・スポーツ	4,751	1,657	749	1,637	1,775
語学	1,264	222	89	211	196
文学	41,356	15,911	9,900	12,946	14,988
小計	77,898	28,635	20,248	24,494	29,643
児童書	47,758	33,642	30,961	24,963	27,238
合計	125,656	62,277	51,209	49,457	56,881

館別団体貸

	中央館	国領分館	つじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
団体数	9	3	5	5	2
貸出冊数				48	
成人				150	
学校	1,860		105		
文庫等	230	75	325	800	2,600
合計	2,090	75	430	998	2,600

冊数表〔V-2〕

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計	比
1,972	1,831	2,590	4,266	2,032	1,099	31,618	9.7
						360	0.1
251	187	418	383	588	93	4,035	1.2
244	184	329	484	455	313	6,194	1.9
490	391	508	912	823	484	9,653	3.0
403	310	453	771	651	283	7,074	2.2
1,019	1,042	1,209	1,903	2,488	1,041	21,677	6.6
655	640	567	871	948	691	10,297	3.2
572	224	1,029	590	1,105	538	8,372	2.6
2,256	2,429	2,125	2,198	3,176	1,946	26,793	8.2
542	299	285	457	518	470	5,224	1.6
1,401	1,310	1,497	1,999	2,221	1,431	20,428	6.3
115	99	160	225	342	139	3,062	0.9
10,635	9,312	12,839	14,626	18,248	10,647	171,408	52.5
20,555	18,258	24,009	29,685	33,595	19,175	326,195	48.1(100)
24,641	24,554	34,783	28,039	47,613	27,434	351,626	51.9
45,196	42,812	58,792	57,724	81,208	46,609	677,821	100

冊数表〔V-3〕

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
7	3	1	5	5	0	45
88	120			84		340
398	60	960	8,127	90		11,750
527				264		4,821
1,013	180	960	8,127	438	0	16,911

年度	52	53
登録率 ($\frac{\text{登録者数}}{\text{人口}} \times 100$)	$\frac{41479}{174505} \times 100 = 23.8$	$\frac{39204}{175031} \times 100 = 22.4$
市民1人当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{人口}}$)	$\frac{611719}{174505} = 3.51$	$\frac{560952}{175031} = 3.20$
登録者1人当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{登録者数}}$)	$\frac{611719}{41479} = 14.7$	$\frac{560952}{39204} = 14.3$
1日当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{開館日数}}$)	$\frac{611719}{2060} = 297$	$\frac{560952}{2012} = 279$
1冊当りの利用回数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{蔵書数}}$)	$\frac{611719}{215993} = 2.8$	$\frac{560952}{230994} = 2.4$
市民1人当りの年間受入冊数 ($\frac{\text{年間受入冊数}}{\text{人口}}$)	$\frac{23030}{174505} = 0.13$	$\frac{22839}{175031} = 0.13$
登録者1人当りの年間受入冊数 ($\frac{\text{年間受入冊数}}{\text{登録者数}}$)	$\frac{23030}{41479} = 0.56$	$\frac{22839}{39204} = 0.58$
市民1人当りの蔵書冊数 ($\frac{\text{蔵書数}}{\text{人口}}$)	$\frac{215993}{174505} = 1.24$	$\frac{230994}{175031} = 1.32$
市民1人当りの図書購入費 ($\frac{\text{図書購入費}}{\text{人口}}$)	$\frac{20227^{*}}{174505} = 116$	$\frac{22004^{*}}{175031} = 126$

* 57年度の貸出冊数は団体貸出冊数をも含む。

54	55	56	57
$\frac{37024}{174690} \times 100 = 21.2$	$\frac{39664}{176149} \times 100 = 22.5$	$\frac{39773}{178814} \times 100 = 22.2$	$\frac{42354}{180731} \times 100 = 23.4$
$\frac{536894}{174690} = 3.07$	$\frac{596028}{176149} = 3.38$	$\frac{630610}{178814} = 3.53$	$\frac{694732}{180731} = 3.84$
$\frac{536894}{37024} = 14.5$	$\frac{596028}{39664} = 15.0$	$\frac{630610}{39773} = 15.9$	$\frac{694732}{42354} = 16.4$
$\frac{536894}{2037} = 264$	$\frac{596028}{2250} = 265$	$\frac{630610}{2317} = 272$	$\frac{694732}{2633} = 264$
$\frac{536894}{246442} = 2.2$	$\frac{596894}{272567} = 2.2$	$\frac{630610}{283690} = 2.2$	$\frac{694732}{323167} = 2.1$
$\frac{26906}{174690} = 0.15$	$\frac{48618}{176149} = 0.28$	$\frac{48822}{178814} = 0.27$	$\frac{41508}{180731} = 0.23$
$\frac{26906}{37024} = 0.73$	$\frac{48618}{39664} = 1.23$	$\frac{48822}{39773} = 1.23$	$\frac{41508}{42354} = 0.98$
$\frac{246442}{174690} = 1.41$	$\frac{272567}{176149} = 1.55$	$\frac{283690}{178814} = 1.59$	$\frac{323167}{180731} = 1.79$
$\frac{55242^{*}}{174690} = 316$	$\frac{35314^{*}}{176149} = 200$	$\frac{58291^{*}}{178814} = 326$	$\frac{51898^{*}}{180731} = 287$

Ⅶ 各館事業

(1) おはなし会

実施館	期 日	内 容
全 館	館によって異なるが、 毎月2～4回実施	幼児を中心に、小学校低学年までの子どもたちを対象に、素話、絵本の読み聞かせ、紙芝居、スライド、16ミリフィルム等を組み合わせたプログラムを用意し、楽しいお話しの世界に導くことを目的として実施した。

(2) 小学生読書会

全 館	毎月1回 日曜日 午前10時30分 ～11時30分	小学校4年生から6年生までを対象に、幅広い本の世界を知ってもらうために、文学作品にとどまらず、ノンフィクションの分野にも広げて本を紹介したり、感想を話し合う、また日常生活に結びついたもの等もとりあげ、子どもたちの興味を誘うと同時に創造力を啓発した。
-----	------------------------------------	--

(3) 中学生読書会

国領分館	毎月1回 日曜日 午前10時～12時	中学生相互の仲間づくりを主体として、自己を見つめる眼、社会を見つめる眼を養い、幅広い読書を推めていくなかで将来における読書生活の習慣づけを目的として実施した。
------	--------------------------	---

(4) 市内小学校との協力事業

全 館	別紙の通り	市内公立小学校全校を対象に、読書の動機づけを行なった。対象は、原則として3年生とし、図書館利用のガイダンスと同時に、各学級の担任の先生と協力して子どもたちに読書の案内等を行った。 この他、夏休み向け推せんリストの作成等、学校との連携は今後もより一層深められていく。
-----	-------	---

市内小学校との協力事業

()は図書の利用冊数

学 校 名	実 施 日	実 施 場 所	学 年 ・ 組	備 考
第 一	57. 6. 9	図 書 室	3-2, 3.	(1,920冊)
"	"	"	3-1, 4.	
第 二	6. 2	国 領 分 館	3-3	ガイダンス
"	6. 9	"	3-2	
"	6. 10	"	3-1	
"	9. 25	"	4-	
"	10. 2	"	3-	
"	10. 6	"	3-	
"	10. 7	"	4-	
"	58. 2. 5	家 庭 科 教 室	4-1, 2, 3.	
"	2. 9	"	3-	
"	2. 22	"	3-	
第 三	57. 7. 8	宮 の 下 分 館	3-2	(600冊)
"	"	"	3-3	
"	7. 9	"	3-1	
八 雲 台	7. 14	図 書 室	3-1, 2, 3.	
富 士 見 台	7. 15	図 書 室	3-男子	
"	"	"	3-女子	
滝 坂	6. 9	教 室	3-1	(267冊)
"	"	"	3-2	
"	6. 10	図 書 室	3-3	
"	"	"	3-4	
深 大 寺	7. 7	教 室	3-1	(150冊)
"	"	"	3-3	
"	"	"	3-2	

学校名	実施日	実施場所	学年・組	備考
上の原	57. 7. 3	神代分館	3-3. 4.	
"	7. 8	"	3-1. 2.	
石原	6. 11	富士見分館	3-3. 4.	
"	"	"	3-1. 2.	
若葉	5. 6	若葉分館	1-1	(6,9 13冊)
"	5. 7	"	1-2	
"	"	"	1-3	
"	5. 15	"	3-3	} ガイダンス
"	"	"	3-2	
"	5. 20	"	3-1	
"	6. 4	"	1-1	
"	"	"	1-2	
"	6. 5	"	1-3	
"	10. 21	"	1-1	
"	10. 22	"	1-2	
"	"	"	1-3	
"	12. 9	"	1-1	
"	12. 10	"	1-2	
"	"	"	1-3	
"	58. 1. 20	"	1-1	
"	"	"	1-2	
"	1. 21	"	1-3	
"	2. 15	"	2-1. 2.	
"	2. 17	"	2-3. 4.	
"	3. 17	"	1-1	
"	3. 18	"	1-2	
"	"	"	1-3	

学校名	実施日	実施場所	学年・組	備考
野川	57. 7. 9	つつじヶ丘分館	3-1	
"	"	"	3-2	
"	"	"	3-3	
緑ヶ丘	6. 8	緑ヶ丘分館	3-3	
"	"	"	3-1	
"	6. 9	"	3-4	
"	"	"	3-2	
染地	7. 9	教室	3-1	(90冊)
"	"	"	3-3	
"	"	"	3-2	
"	11. 16	"	5-1	
"	"	"	5-2	
"	11. 18	"	5-3	
"	"	"	5-4	
北の台	58. 1. 21	深大寺分館	3-2	
"	1. 22	"	3-1	
"	1. 26	"	3-4	
"	1. 28	"	3-3	
多摩川	57. 10. 22	教室	3-1	
"	"	"	3-2	
"	"	"	3-3	
杉森	7. 14	染地分館	3-2	
"	"	"	3-3	
"	7. 15	"	3-4	
"	"	"	3-1	
大町	7. 18	つつじヶ丘分館	3-1	(104冊)
"	"	"	3-2	
飛田給	7. 2	宮の下分館	3-1	
"	"	"	3-2	

学校名	実施日	実施場所	学年・組	備考
柏野	57. 7. 2	図書室	3-全	
国領	6. 29	国領小学校(放送)	全児童	
"	7. 2	国領分館	3-1	
"	"	"	3-2	
"	7. 3	"	3-3	
"	"	"	3-4	
"	11. 30	国領小学校(放送)	全児童	
布田	9. 16	教室	3-1	(900冊)
"	"	図書室	3-2	
"	"	"	3-3	

(5) その他

事業名	期日	内容
子どもの本を読む会	毎月1回 第2火曜日 午前10時~12時 会場 中央館	今年度は、前年に続き、新刊書を中心に読書会を催した。又、大冊の作品にも手をのばし、相互の読後感を話し合い子どもの本に対する評価の眼を養った。
絵本の会	毎月1回 第2木曜日 午前10時~12時 会場 深大寺分館	今年度発足した絵本についての勉強会で、今年は優れた絵本を出来るだけ多く紹介し、絵本の持つ魅力や、子どもと絵本のつながり等について話し合った。
二葉学園読書会 (担当) 宮の下分館	毎月1回 第2水曜日 午後6時~8時 会場 二葉学園	今年度は、読み聞かせや本の紹介等を中心に、本の世界の楽しさを知ってもらい、読書への導入をはかると同時に必読書(課題図書)を決め読後感を話し合った。
おはなしの時間	毎日 午後3時~3時15分 会場 若葉分館	毎日定時に催し、日常業務(貸出、読書案内等)の延長として、専用のおはなし室を利用して行い、素話しや、読み聞かせを中心に、本の世界への導きをより身近なものとして実施した。
その他 (実施) 各館	随時 児童会館 学童保育所・保育園 地域センター	市の施設等に対して図書(団体貸出し)を行うと同時に、子どもを対象とした施設においては、図書以外についても相互の協力をはかり、読書の導入を行った。

VIII その他の活動状況

1. 集会・学習活動の状況

調布市立図書館では、開館以来図書資料の貸出(提供)の外にさまざまな集会・学習活動を実施し、読書への啓蒙と図書館利用の促進を図っている。また、図書館は、市民の学習・実践という反復する繰り返しの活動の中で市民と資料と図書館員との有機的な相互学習の場として各種の事業を実施している。

図書館がこの様に多面的な内容の事業を手がけることには賛否両論があるが、社会教育の分野において図書館の役割は非常に大きく、すべての社会教育的活動の基礎をなすものと考えられる。

今、調布市立図書館では市民の中にこれらの基礎づくりを体系化し市民の生涯教育の足がかりとしての図書館を目指して試行錯誤の段階である。現在行なっている事業は、図書館が主催する事業と、図書館を核として活動している調布ブッククラブが行う事業とに大別することができる。調布ブッククラブに属しているグループは昭和57年度57団体でその会員は延1,300人であった。

図書館主催の全市的な事業としては、講座、講演会を中心に時局的なテーマで開催し市広い市民の参加を求めて行なった。一方、各館ごとの事業は、各地域を限定しその中における木目細かい活動を行なった。

2. 行事

(1) 講演会

佐須分館開館記念講演会	7月15日 佐須分館 参加者 約120人	随筆家 室生 朝子氏 —— 父・室生屋星とわたし ——	✓
教育講演会	12月22日 市役所8階会議室 参加者 約150人	お茶の水女子大教授 外山滋比古氏 —— 親は子に何を託すべきか ——	✓
教育講演会	3月17日 市民福祉会館 参加者 約150人	評論家 丸岡 秀子氏 —— 母は子に何を託すべきか ——	✓
中学生夏休み講演会	8月20日 横浜銀行会議室 参加者 50人	漫画家 水木しげる氏 —— 私の中学生時代 ——	

上の原地域講演会	10月20日 上の原小学校 参加者 約400人	児童文学者 宮川 ひろ氏 —— 子どもから学ぶ、母親としての幸せ —— (上の原小P.T.A.と共催)
滝坂地域講演会	10月28日 滝坂小学校 参加者 約300人	児童文学評論家 西本 鶏介氏 —— 心のひだを作るこどもの読書 —— (調布P連第3ブロックと共催)
つつじヶ丘地域講演会	10月29日 たちばな幼稚園 参加者 150人	教育学者 遠藤 豊吉氏 —— 子どもの心が見える親 —— (たちばな幼稚園父母の会と共催)

(2) 講座・講習会

初級朗読ボランティア講座	5月28日～1月28日 毎月2回 延15回 参加者 定員40人	声優 櫻村 治子氏 対面朗読・朗読テープ録音のための基礎的朗読技術について
教育講座 第1回	7月3日 市役所8階会議室 参加者 約120人	高校教諭 菅 龍一氏 —— 親であることの意味 ——
教育講座 第2回	7月10日 市役所8階会議室 参加者 約160人	教育学者 遠藤 豊吉氏 —— 大人の対応が子どもをダメにする ——
児童文学講座	11月5・12日 横浜銀行会議室 参加者 各回70人	児童文学研究家 佐々梨代子氏 —— 子どもにとってお話しの世界とは ——
点訳ボランティア講座	1月27日～3月31日 毎週1回 延10回 参加者 定員25人	点訳指導者 佐藤 和興氏 点字の基礎学習から点訳実技について
手袋人形講習会	10月14日～15日 市民センター 参加者 30人	人形作家 三木 和子氏 「赤ズキンのオオカミ」人形の作製

朗読ボランティア説明会	5月13日 市民センター 参加者 40人	朗読ボランティア制度の発足にともない、ボランティアの在り方、視覚障害者の現状について説明会を開催した。
朗読ボランティアこん談会	9月8日 市民福祉会館 参加者 30人	主に対面朗読を担当しているボランティアを対象に、その実際と留意点について話し合った。
朗読ボランティア交流会	3月12日 市民センター 参加者 40人	視覚障害者の方とボランティアとの交流を図り、相互の理解を深め、より充実したサービスを目指すことを目的として開催した。

(3) 著者を囲む会

第1回	11月10日 横浜銀行会議室 参加者 60人	文芸評論家・歌人 来嶋 靖生氏 ——柳田国男の詩歌の世界 森のふくろう——
-----	------------------------------	--

(4) 座談会

第1回	7月21日 市役所8階会議室 参加者 170人	教育評論家 藤原 てい氏 ——わが夫、新田次郎との道程——
第2回	9月29日 市役所8階会議室 参加者 約80人	詩人・文芸評論家 伊藤 信吉氏 ——速い声・そして今日——

(5) 研究会

近代文学研究会	毎月2回 神代分館 会員 20人	都留文科大講師 田中 実氏 森鷗外を中心に近代文学作家の人と作品について学習
漱石文学研究会	毎月1回 横浜銀行会議室 会員 15人	近代文学研究会 織田 保夫氏 夏目漱石の後期代表作を中心に読み深める
現代作家研究互葉会	毎月1回 若葉分館 会員 15人	各自が読みたい本を出し合い、視野を広げ理解を深める。

万葉集を読む会	毎月1回 市役所8階会議室 会員 80人	国文学者・歌人 片山 貞美氏 古典文学の代表的作品である万葉集を読み深める。
近代写実文学を読む会	毎月1回 横浜銀行会議室 会員 20人	歌人 宮地 伸一氏 近代詩歌を確立した、正岡子規、伊藤左千夫、長塚節について研究。
聖書を読む会	毎月1回 図書館 会員 30人	立教大学教授 赤司 道雄氏 前年に引き読み歴史的、宗教思想的観点から学習。
仏典に親しむ会	毎月1回 市内の寺院 会員 40人	仏典と日常生活の関りや経典の理解、坐禅、写経等の実践を通して学習。
今昔物語の会	毎月1回 横浜銀行会議室 会員 30人	児童文学者 西本 鶏介氏 近代・現代作家に多大の影響を与えている今昔物語について研究。
民話研究会	毎月1回 横浜銀行会議室 会員 30人	児童文学者 西本 鶏介氏 郷土の昔話し等の収集から体を通して文章を起し発表する。
朗読奉仕の会	毎月2回 図書館 会員 30人	俳優 篠田 節夫氏 対面朗読、朗読テープ作製のための基礎から技術について学習。
朗読奉仕語りの会	毎月2回 図書館 会員 7人	

(6) 図書館まつり

著者を囲む会	2月3日 市役所8階会議室 参加者 約200人	作家 水上 勉氏 「落葉帰根」「父と子」を中心に
--------	-------------------------------	-----------------------------

子ども映画会	2月5日 公民館 参加者 約400人	映画「白雪姫」「おこんじようるり」 (当日おこんじようるりの原作者、さねとう あ きら氏を迎えた)
名画鑑賞会	2月5日 公民館 参加者 約350人	映画 「飢餓海峡」(原作 水上 勉)
朗読の会	2月9日 市民福祉会館	女優 長岡 輝子氏 俳優 白井 正明氏 ——詩のひびき・美しき言葉——
時局・文芸講演 会	2月15日 市役所8階会議室 参加者 約200人	作家 中野 孝次氏 現代作家の使命 作家 高 史明氏 ——いのちの優しさ——
第11回市民句会	2月21日 市役所8階会議室 参加者 約210人	飯田龍太、加倉井秋を、鷹場狩行、細見綾子、皆 吉爽雨、森澄雄、山口青邨の各氏による選評と 俳話
座談会	2月22日 市民福祉会館 参加者 約120人	女優 北城真記子氏 ——私の芝居——
児童文学講演会	2月25日 横浜銀行会議室 参加者 約80人	児童文学者 後藤 竜二 ——現代の子どもの本——
第10回市民歌会	7月27日 市民センター 参加者 約70人	片山貞美、小暮政次、宮地伸一の各氏による選評 と講話
調布の民話を語 る会	3月2日 横浜銀行会議室 参加者 約60人	指導 児童文学者 西本 鶏介氏 ——民話研究会々員による調布の民話発表——

文化講演会	3月5日 市役所8階会議室 参加者 約100人	作家 長部日出雄氏 ——棟方志功の世界——
俳句・短歌展	2月1日～10日 公民館	日頃、創作した作品を一堂に展示し、鑑賞した。
作家の横顔・筆 蹟展	2月1日～26日 西友調布店	図書館を訪れた作家・評論家等の横顔と筆蹟を公 開し、図書館活動の歩みを展示した。
日本画86人展	2月27日～3月12日 西友調布店	日本画技法を学ぶ5サークルが、日頃の作品を一 堂に展示し、その成果を一般市民に披露した。
(7) その他の行事		
朗読の夕べ	6月17日 市民センター 参加者 約50人	朗読サークル語りの会による朗読上演 「新島の民話」「掌の小説」
公開創作合評会	4月11日 公民館 10月24日 市役所会議室 参加者 各回40人	文芸評論家 青木 健氏 文芸誌「たきおん」第9号・第10号の合評
公開読書会	9月22日 3月9日 若葉分館 参加者 約40人	文芸評論家・詩人 速丸 立氏 課題図書「銀河鉄道の夜」「放浪記」
日本画展	7月21日～8月17日 10月22日～11月13日 西友調布店	日本画を学ぶ5サークルが一堂に会し、日頃の作 品を発表した。
名作観劇会	10月30日 グリーンホール 参加者 約800人	文学座の公演を期に、巨匠チェホフ作の「桜の園」 を観劇、原作とは異なった文学を鑑賞した。
年賀状展	1月11日～25日 図書館	現在活躍中の作家・評論家・児童文学者等の直筆 年賀状を展示し、一般市民に公開した。

3. 育成グループ

(1) 読書グループ

グループ名	定例日	時間	会場
あすなろ読書会	第1木曜日	10時～12時	中央館
柏読書会	第3金曜日	10時～12時	中央館
名作読書会	第4金曜日	10時～12時	中央館
読書会夜行列車	第3火曜日	7時～9時	中央館
若葉読書会	第1・第3水曜日	1時～4時	若葉分館
古典文学を読む会	第1土曜日	1時～4時	若葉分館
若葉読書会	第2・第4金曜日	10時～12時	若葉分館
ふたば読書会	第4水曜日	10時～12時	若葉分館
七宝読書会	第2水曜日	10時～12時	富士見分館
こだま読書会	第3木曜日	10時～12時	富士見分館
針布読書会	第3木曜日	1時～4時	神代分館
白鳥読書会	第2木曜日	10時～12時	神代分館
かりんの会	第1木曜日	10時～12時	緑ヶ丘分館
緑ヶ丘読書会	第4水曜日	10時～12時	緑ヶ丘分館
やまなみ読書会	第1火曜日	10時～12時	深大寺分館
宮の下読書会	第2火曜日	10時～12時	宮の下分館
つくし読書会	第3火曜日	1時～4時	多摩川地区
木犀読書会	第4火曜日	10時～12時	柴崎地区
芙蓉読書会	第4火曜日	10時～12時	国領分館
S F を読む会	第4日曜日	1時～4時	中央館ほか

(2) 創作グループ

火曜句会	第2火曜日	1時～4時	神代分館
水曜句会	第4水曜日	1時～4時	若葉分館
ン(にすい)句会	第2水曜日	1時～4時	横浜銀行
木曜句会	第1木曜日	1時～4時	公民館ほか
二本句会	第2木曜日	1時～4時	横浜銀行
金曜句会	第2金曜日	1時～4時	公民館ほか

グループ名	定例日	時間	会場
みずき句会	第2金曜日	1時～4時	横浜銀行
俳句教室	第1・第3金曜日	1時～4時	横浜銀行
たづくり句会	第3・第4木曜日	1時～4時	公民館ほか
つつじヶ丘句会	第1火曜日	1時～4時	公民館ほか
青條歌会	第4日曜日	10時～12時	公民館ほか
径歌会	第4日曜日	1時～4時	公民館ほか
からすうり歌会	第2月曜日	1時～4時	羽人氏宅
福寿草歌会	第4金曜日	10時～12時	神代分館
綴り方サークル	第1・第3火曜日	10時～12時	神代分館
たきおん	第2日曜日	1時～4時	公民館ほか
みちくさ	第3木曜日	10時～12時	深大寺分館

(3) 芸術グループ

朱彩会	第1・第3土曜日	10時～12時	中央館ほか
碧彩会	第1・第3土曜日	1時～3時	公民館ほか
彩虹会	第1・第3土曜日	3時～5時	公民館ほか
彩雅会	第1・第3火曜日	10時～12時	中央館
彩権会	第1・第3火曜日	1時～3時	公民館ほか
絵本と童話の会「くー」	第1・第3火曜日	10時～12時	中央館

(4) その他

文学散歩同好会	年間 25回	市内 都区内 近県及び宿泊散歩	
古典講読の会	第2木曜日	10時～12時	中央館

(5) 地域文庫

長流文庫	市内親子読書グループ 15団体	市内に点在する地域文庫は、15団体である。これらは図書館と協力し、文庫会員に対し図書貸し出しや、お話し、本の読みきかせ、紙芝居等を中心に、文庫活動を続け、地域文化の高揚に努めている。
長流文庫連絡会	年4回開催	長流文庫に加盟の文庫相互の連絡会で、各文庫の現況等を中心に意見交換をし、相互の理解を深め、文庫運営のための参考としていく。

4. 視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーは、地域住民生活に密着した視聴覚教育活動の普及と活用を図るため視聴覚機器及び教材を整備し、次の事業を行った。

(1) フィルム選定会

視聴覚教育活動の啓蒙と視聴覚機器及び教材利用促進を図るため、新規購入フィルムの選定試写会を実施した。同時に、視聴覚ライブラリーの運営及び機材整備等についての協議を行った。

(2) 16ミリ発声映写機操作認定講習会

映写機の基礎的な構造及び機械操作技術の修得並びにフィルムの安全利用について学習、地域での視聴覚教育活動、特に映画会等の普及に役立つものとした。

講習会日程 6月22日から6月26日まで、7月27日から7月31日まで、修了者90人

(3) 16ミリ発声映写機検定

映写機及びフィルム等の安全利用のため、学校、事業所等各団体の所有する16ミリ映写機の機能点検を実施した。

検定日 7月8日～10日 検定台数65台

新規購入映写機については、随時実施した。

(4) 地域における映画会等視聴覚活動の指導・援助

映画会等の開催、フィルム選定に関する相談等、地域の視聴覚活動の窓口として、指導援助に努めた。

(5) 視聴覚機器・教材の利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
16ミリ映写機	13	14	16	24	23	14	19	16	25	17	21	17	219
8ミリ映写機	5	3	2	4	2	2	2	5	5	0	3	0	33
スライド映写機	0	2	3	2	6	2	3	6	4	0	4	8	40
O. H. P.	0	0	1	1	2	1	1	0	2	0	1	1	10
スクリーン	9	11	8	9	11	11	10	9	9	7	11	11	116
その他の機材	4	8	3	5	8	10	8	6	18	5	7	8	90
16ミリフィルム	23	25	25	59	32	39	67	42	31	22	24	46	435
スライドフィルム	0	0	0	0	3	1	0	4	8	0	3	6	25

事務分掌表

昭和58年6月1日現在

館長	副館長	係長	係名	分掌事務	職名	氏名	備考		
館長 森 正 克		係長 岡部 勲	庶 務	予算の執行に関する事	司書	[黒塗り]			
				館の管理に関する事	主事補				
				経理に関する事	技能主事				
						館内の庶務に関する事	警備員		
				主査 金沢 敬	事 業	集会、行事に関する事	主事	[黒塗り]	
						広報に関する事	司書		
						ブッククラブに関する事	社会教育指導員		
						視聴覚ライブラリーに関する事	嘱託		
				係長 座間 直 壮	中 央 図 書 館	中央館の運営・管理に関する事	司書	[黒塗り]	布田4～17～5 (88)5181
						司書			
		司書							
		司書							
		司書							
		障害者サービスに関する事	社会教育指導員						
				図書整理等	委託 委託 協力員				
			書	国領分館の運営・管理に関する事	司書	[黒塗り]	国領町3～12～1 (84)2000		
				司書					
				つつじヶ丘分館の運営・管理に関する事	司書	[黒塗り]	西つつじヶ丘 4～23～6 (85)2000		
				司書					

館長	副館長	係長	係名	分掌事務	職名	氏名	備考	
館 長 森 正 克		係 長 座 三 間 直 社 書	図	深大寺分館の運営・管理に関する事	司書	[REDACTED]	深大寺町 2266~14 (85)3350	
				神代分館の運営・管理に関する事	司書		[REDACTED]	西つつじヶ丘 1~40~2 (85)0054
				宮の下分館の運営・管理に関する事	司書			[REDACTED]
				緑ヶ丘分館の運営・管理に関する事	司書	[REDACTED]		
				富士見分館の運営・管理に関する事	司書		[REDACTED]	
				若葉分館の運営・管理に関する事	司書			[REDACTED]
				若葉分館	協力員	[REDACTED]		
				若葉分館	協力員			
				染地分館の運営・管理に関する事	司書	[REDACTED]	染地3~3~1 (88)8393	
				染地分館	司書			
佐須分館の運営・管理に関する事	司書	[REDACTED]	佐須町657 (85)1306					
佐須分館	司書							

数字で見る図書館活動

昭和58年版

昭和58年10月25日発行

編集・発行

調布市立図書館

館長 森 正 克

(182) 調布市布田4~17~5

0424(88)5181

印刷 (有) 林 印刷

